

管理マニュアル

タイムスタンプソリューション
APX2-EVID/5P

すぐ取り出せる場所に保管してください

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料



もくじ


注意事項など	使う前に
本製品を使う上で、お守り いただきたいご注意です。 必ずお読みください。	安全のために 3 使用上のご注意 5 添付品を確認する 7 動作環境 8 各部の名称・機能 9
初期設定	導入する
本製品の設置・導入方法です。	ステップ1 ISS に登録する 12 ステップ2 設置する 14 ステップ3 NarSuS に登録する 22 ステップ4 本製品の初期設定 27 ステップ5 LTV-Sign の初期設定 28 電源を切る場合 31
その他の設定・故障時の対応	その他の設定
本製品のその他の設定です。 必要に応じてご確認ください。	パスワード変更 32 IP アドレス設定 33 バックアップと復元 34
	故障時の対応
	困ったときには 43 故障と思ったら・・・ 44 システムリカバリする 45
資料	資料
その他本製品の資料情報で す。必要に応じてご確認ください。	タイムスタンプ仕様 47 出荷時設定 47 ランプの状態 47 対応ソフトウェア 48 アフターサービス 51 オンライン保守パック サービス内容 / ご利用規約 57 ハードウェア保証規定 62

使う前に


安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお
使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず
記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示


 **警告**


この表示の注意事項を守らないと、死亡または重
傷を負うことがあります。


 **注意**


この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり
周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

 禁止


 指示を守る

 **警告**


 **本製品を修理・改造・分解しない**

発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。


**雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れ
ない**

 感電の原因になります。


故障や異常のまま、つながない

 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつない
でいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因にな
ります。


**AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多
い場所で使わない**

 水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかか
ると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因に
なります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使
用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上
に置かないでください。
・万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまっ
た場合は、絶対に使用しないでください。


**本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに
置かない**

 誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因
になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに
医師にご相談ください。


**本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製
品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜
いてからおこなう**

 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因
になります。


本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

 発火の原因になります。

決められた電源で使用する

 所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・
感電の原因になります。

**煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使
うのを止める**

 そのまま使用すると発火・感電の原因になり
ます。

⚠ 警告 ●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

❌ 電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながらない

❌ 発火、発熱のおそれがあります。

熱器具のそばに配線しない

❌ 電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはない

❌ 電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながらない

❌ 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

❌ 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながらない

❌ 発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する

❗ 長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

❗ そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

❌ 発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

❗ テーブルタップの定格容量（1500W などの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない

❌ 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

❌ 足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

❗ ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをすることもあります。

使用上のご注意

＜重要＞データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

その他のご注意

- ・動作中に本製品や外付 HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- ・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- ・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社 Web ページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
- ・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
 - ・ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
 - ・メールサーバー
 - ・認証サーバー（ドメインコントローラー等）
 - ・ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
- ・本製品は「休止」「スリープ」には対応しておりません。

お手入れ方法

- 本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
 - ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

添付品を確認する

- ☐ AC アダプター（1 個）
- ☐ 電源コード（1 本）
- ☐ AC プラグ変換アダプター（1 個）
- ☐ LAN ケーブル（1 本）
- ☐ ロックキー（2 個）
- ☐ リカバリーメディア（1 枚）
- ☐ オンサイト保守パックご利用案内 / サービス内容 / 規約（1 枚）
- ☐ メンテナンスカード（1 枚）
- ※本製品のシリアル番号（S/N）が記載されています。本製品側面のカードフォルダーに入れて保管します。
- ☒ 管理マニュアル（本書）

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

動作環境

●本製品および純正オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。

●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできませんが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへバックアップしてください。

対応外付 HDD、対応 UPS、ハードウェア仕様

以下の弊社 Web ページをご確認ください。
<https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-evid5p/spec.htm>

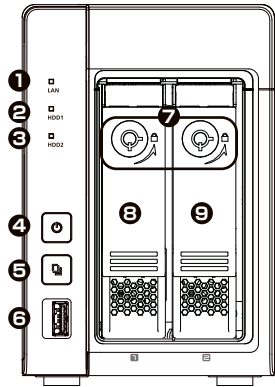


●外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。

●外付 HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

各部の名称・機能

前面



① LAN ランプ	橙点滅	LAN1/LAN2 アクセス時
	消灯	LAN1/LAN2 未接続時
② HDD1 ランプ	緑点灯	HDD 正常認識時
	緑点滅	HDD アクセス時
③ HDD2 ランプ	赤点灯	HDD エラー時
	消灯	HDD 未接続時
④電源ボタン STATUS ランプ		短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。 3 秒以上電源ボタンを押し続けしないでください。 また、本製品の状態を示します。 詳しくは、【ランプの状態】（47 ページ）をご覧ください。
⑤ Func ボタン USB ランプ	ボタン	3 秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時、2 秒以内押すとブザーを停止します。
	青点灯	USB 機器認識時
	消灯	USB 機器未接続時
⑥ USB ポート		増設用 USB ポートです。(USB 3.1)
⑦カートリッジ固定ロック		カートリッジをロック / アンロックします。
⑧ HDD1		カートリッジを接続します。
⑨ HDD2		脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。

使う前に

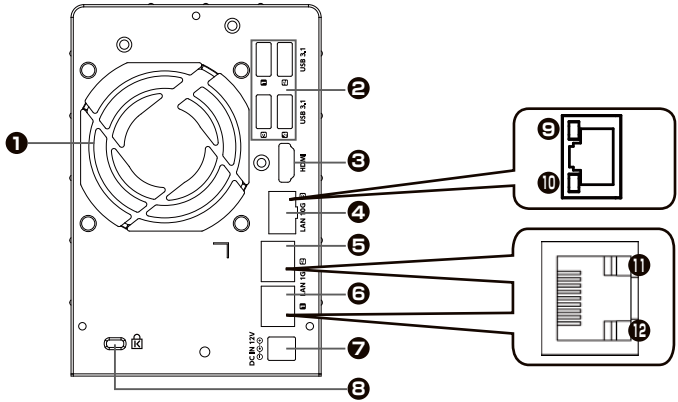
導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

背面



①ファン	冷却用ファンです。ふさがないようにください。	
②USB ポート 1~4	外付 HDD などを接続します。(USB 3.1)	
③HDMI コネクター	ディスプレイを接続します。	
④LAN ポート 3 (10G)	LAN ケーブルを接続します。 カテゴリ 6A の LAN ケーブルを接続すると最大 10Gbps (理論値) で通信することができます。 ※最大 10Gbps (理論値) で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルについて、55m まではカテゴリ 6 で対応可能です。 ※ 10BASE-T の場合は LAN ポート 1 または 2 に接続してください。	
⑤LAN ポート 2 (1G)	LAN ケーブルを接続します。	
⑥LAN ポート 1 (1G)	LAN ケーブルを接続します。	
⑦DC-IN	添付の AC アダプターを接続します。	
⑧セキュリティスロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑨LINK/ACT (10G) ランプ	黄点灯	LINK 中
	黄点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑩SPEED (10G) ランプ	黄緑点灯	10GBASE-T で接続中
	橙点灯	5/2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続
⑪SPEED (1G) ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	消灯	未接続、または 100BASE-TX、10BASE-T で接続中
⑫LINK/ACT (1G) ランプ	黄点灯	LINK 中
	黄点滅	データを送受信中
	消灯	未接続

導入する

ご注意

●本製品を利用して電子書類のタイムスタンプを確認する際、インターネット環境が必要です。

タイムスタンプとは？

タイムスタンプとは、電子文書の証拠性を上げる仕組みです。証拠性を上げるため、作成者以外の第三者が「存在証明」と「非改ざん証明」を証明します。本製品では、10 年間の有効期限をもつタイムスタンプを 5 年間無制限に押印いただけます。

存在証明

以前に存在していた

ハッシュ値と時刻情報を合わせて
文書にスタンプ添付
(タイムスタンプトークン)

非改ざん証明

以降改ざんされていない

Back Date 不可

本製品では、「セイコータイムスタンプサービス」を利用しています。



(【タイムスタンプ仕様】(47 ページ) 参照)

ご注意

●本製品を利用する場合、ISS (アイオー・セーフティ・サービス) の登録が必要となります。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

ステップ1 ISSに登録する


ISS（アイオー・セーフティ・サービス）とは？

アイオー・セーフティ・サービスは、対象製品をより長く安心してご利用いただくために、万一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、本製品入替えのドキュメント引越しサービスまで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。
オンサイト保守サービスは、故障時、サービスマンがお客様のところへお伺いし、故障品の交換作業などをおこないます。

本商品には、ISS（アイオー・セーフティ・サービス）、返却不要オンサイト保守（5年）が含まれております。
【オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約】（57 ページ）をご確認の上、登録をしてください。



●ISS への契約期間が「セイコータイムスタンプサービス」の契約期間になります。

ISS 登録のしかた

- 1 インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスする
<https://www.iodata.jp/support/iss/>
- 2  [未登録の方] 下の [こちら] をクリック
- 3 画面の指示にしたがってお申込みを完了させる

これで登録完了です。
次に「セイコータイムスタンプサービス」の ID、パスワードを確認します。

「セイコータイムスタンプサービス」ID、パスワードの確認方法

- 1 インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスする
<https://www.iodata.jp/support/iss/>
- 2  登録した [ログイン ID] [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリック
- 3  本製品の [詳細表示] をクリック

画面下に「セイコータイムスタンプサービス」の ID、パスワードが表示されますのでメモします。

▼メモ欄

ID	
パスワード	

ステップ2 設置する

設定方法を選ぶ

本製品の設定は、Windows のリモートデスクトップを使用します。
また、DHCP サーバーの有無により手順が異なります。
ご利用の環境をご確認の上、該当する手順をご覧ください。

Windows 8.1 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合
【設定方法①】（15 ページ）

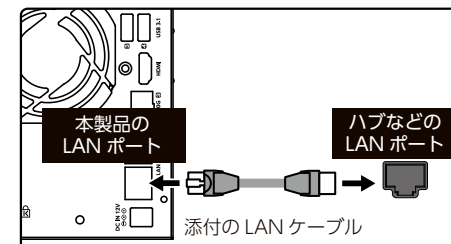
Windows 8.1 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合
【設定方法②】（17 ページ）

ネットワークを利用せずにセットアップする場合
【設定方法③】（20 ページ）

設定方法①

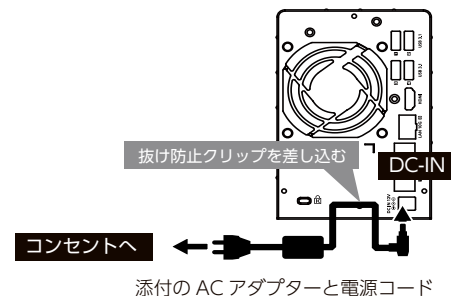
ネットワーク上に、Windows 8.1 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合の設定手順です。

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



3 前面の電源ボタンを押す



ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（31 ページ）をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

4 [リモートデスクトップ接続] を起動する

【リモートデスクトップ接続】の起動方法

- Windows 10 の場合
[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] をクリック
- Windows 8.1 の場合
[スタート] → [リモートデスクトップ接続] をクリック

5



① コンピューター名を入力

コンピューター名について

出荷時設定では、APX-EVID を入力します。

② [接続] をクリック

接続できない場合

【設定方法③】(20 ページ) をお試しください。

6 ログオン画面で、[別のアカウントを使用] を選択

7



① 次を入力

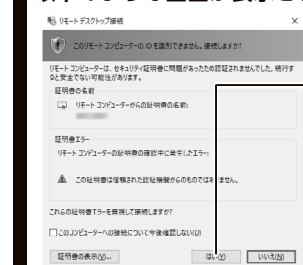
ユーザー名: Administrator
パスワード: admin

② [OK] をクリック

補足事項

- 出荷時パスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

以下のような画面が表示された場合



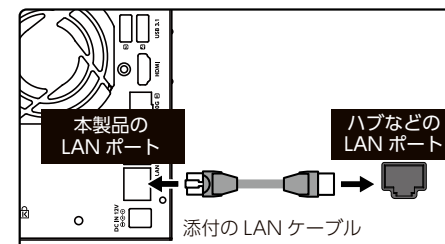
[はい] をクリック

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【ステップ3 NarSuS に登録する】(22 ページ) へお進みください。

設定方法②

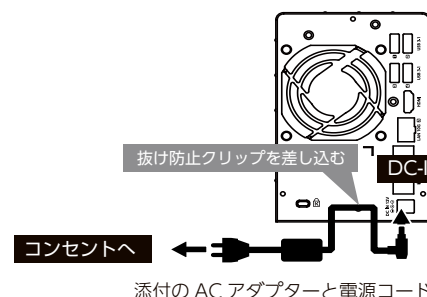
ネットワーク上に、Windows 8.1 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合の設定手順です。

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



3 前面の電源ボタンを押す



ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(31 ページ) をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入ると、正しくネットワークに参加できなくなります。

4 設定用パソコンの現在の IP アドレスを確認し、メモする

※後で、現在の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

5 設定用パソコンの IP アドレスを [IP アドレスを自動的に取得する] に設定する

6 [リモートデスクトップ接続] を起動する

[リモートデスクトップ接続] の起動方法

● Windows 10 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] をクリック

● Windows 8.1 の場合

[スタート] → [リモートデスクトップ接続] をクリック

① コンピューター名を入力

コンピューター名について
出荷時設定では、APX-EVID を入力します。

② [接続] をクリック

接続できない場合
【設定方法③】(20 ページ) をお試しください。

8 ログオン画面で、[別のアカウントを使用] を選択

① 次を入力
ユーザー名: Administrator
パスワード: admin

② [OK] をクリック

補足事項

● 出荷時パスワードは「admin」です。

Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

以下のような画面が表示された場合

10 本製品の IP アドレスを手順4でメモした IP アドレスを参考にネットワークに適した値に変更する

11 いったんリモートデスクトップ画面を閉じる ※ IP アドレスを変更したため、通信できなくなります。

12 設定用パソコンの IP アドレスを元に戻す

次に【ステップ3 NarSuS に登録する】(22 ページ) へお進みください。

使う前に

導入する

その他の設定

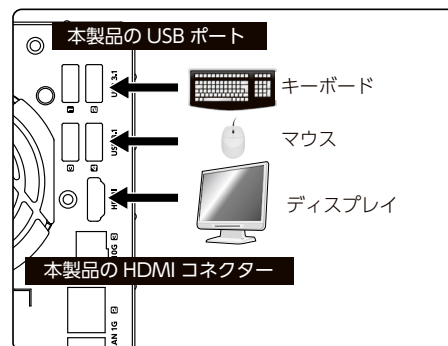
故障と思ったら...

資料

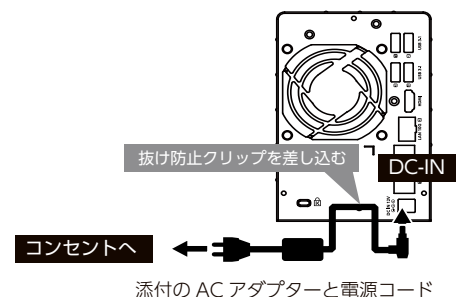
設定方法③

ネットワークを利用せずにセットアップをおこなう場合の設定方法です。

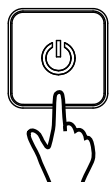
- ① HDMI コネクタにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



- 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。



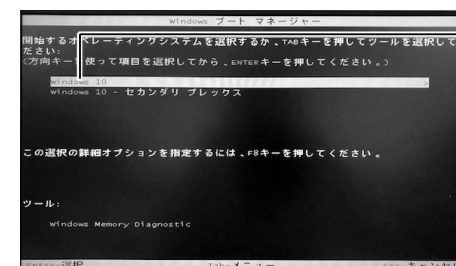
- 前面の電源ボタンを押す



ご注意

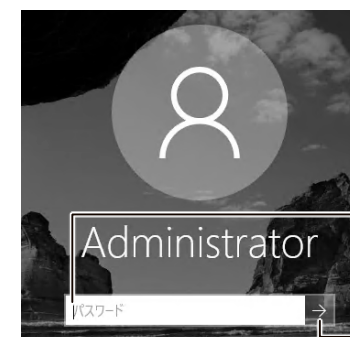
- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(31 ページ)をご覧ください。

4



キーボードの方向キーで
[Windows 10] を選び
[Enter] キーを押す

5



① [admin] を入力

② [→] をクリック

補足事項

- 出荷時パスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。次に【ステップ3 NarSuS に登録する】(22 ページ) へお進みください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

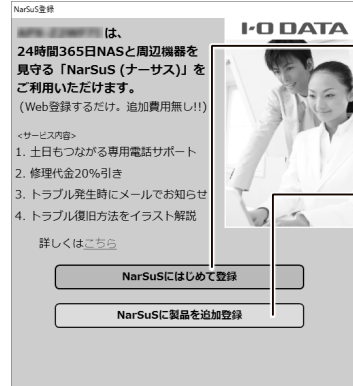
資料

ステップ3 NarSuS に登録する

ご注意

- 本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
- Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] → [セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1 ※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

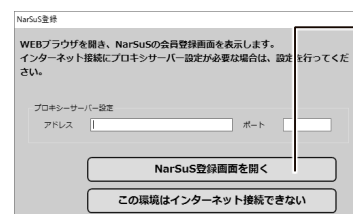


● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
[NarSuS にはじめて登録 (無料)] をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
[NarSuS に製品を追加登録] をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2 [NarSuS 登録画面を開く] をクリック



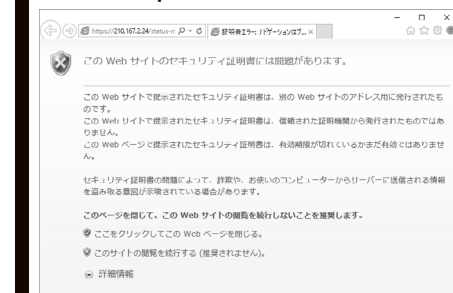
[プロキシサーバー設定]

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合

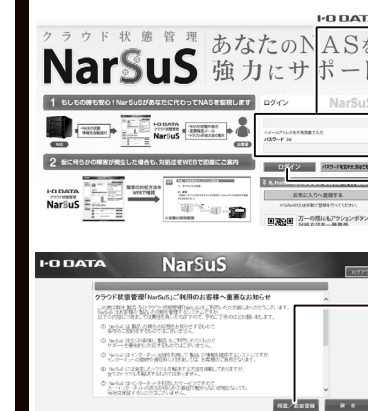
【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】(25 ページ) をご覧ください。

Internet Explorer で注意が表示された場合



[インターネットオプション] → [セキュリティ] から、
"https://www.narsus.jp" を [信頼済みサイト] に登録してください。

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

② [ログイン] をクリック

③ [同意/追加登録] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

以上で NarSuS 登録は完了です。

次に【ステップ5 LTV-Sign の初期設定】(28 ページ) へお進みください。

ご注意

- 登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
 - ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)
 - ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
 - ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
 - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

NarSuS へのログイン方法

方法 1 以下 URL にアクセスしてください。

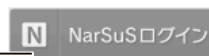
<https://www.narsus.jp/>

方法 2 ①タスクトレイのアイコンをクリック

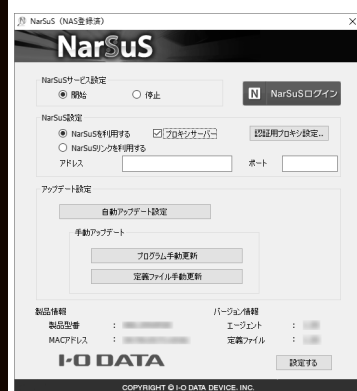


② NarSuS 設定画面右上の

[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



NarSuS 設定画面



NarSuS 設定	プロキシの設定が必要な場合、【プロキシサーバー】にチェックをつけ、プロキシサーバーの【アドレス】と【ポート】を入力します。 ※設定内容については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※【認証用プロキシ設定】をクリックすると、認証用の【ユーザー名】【パスワード】を設定できます。
アップデート設定	自動アップデート設定 NarSuS アプリやNarSuSのイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新 クリックすると、本NarSuS アプリを更新します。
	定義ファイル手動更新 クリックすると、NarSuSのイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。ご注意ください。

※本設定は、管理ソフト「ZWS Manager」のアップデートも対象です。

利用コードの確認

設定によっては、利用コードを求められます。

NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、【製品詳細登録】をクリックして、利用コードを確認してください。

NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、

[NarSuS のヘルプ] をクリック

スマートフォンからは、以下の QR コードを読み込むと閲覧できます。



インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

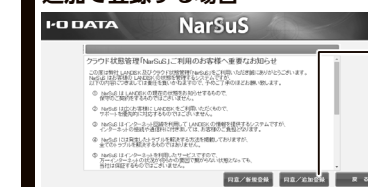
1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
<https://www.narsus.jp/user-reg>

2



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4



登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

5

本製品にログインする

使う前に

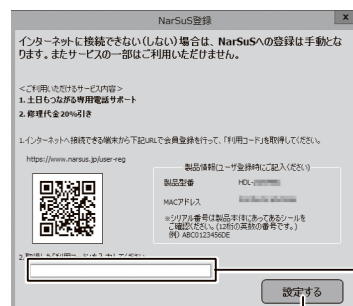
導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

6



①メモした [ご利用コード] を入力

② [設定する] をクリック

以上で NarSuS 登録は完了です。

次に【ステップ4 本製品の初期設定】（27 ページ）へお進みください。

ステップ4 本製品の初期設定

初回起動時におこなう必要最小限の設定です。

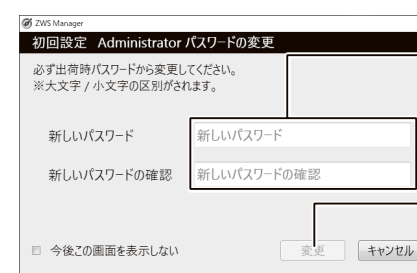
1 設定項目を確認する

※設置場所のネットワークによります。

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ DNS サーバー

2 Administrator でログインする

3

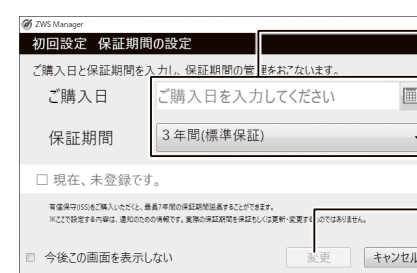


①新しいパスワードを入力

② [変更] をクリック

※再度変更する場合は、【困った時には】（43 ページ）参照

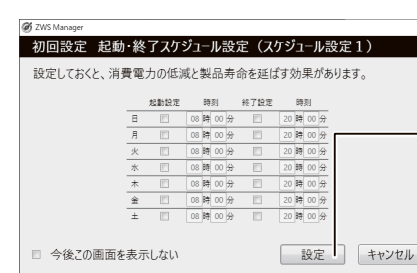
4



①ご購入日と保証期間を選ぶ

② [変更] をクリック

5

スケジュール設定をして
[設定] をクリック

次に【ステップ5 LTV-Sign の初期設定】（28 ページ）へお進みください。

SNMP を利用する場合

C:\¥I-O DATA フォルダに設定のためのツールと設定方法を記載したファイルが格納されています。
SNMP 設定をおこなう場合は、C:\¥I-O DATA フォルダを参照してください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

ステップ5 LTV-Sign の初期設定

LTV-Sign について

本製品にインストール済みの LTV-Sign は本製品専用の LTV-Sign です。
以降、LTV-Sign（タイムスタンプ専用）と表記します。

LTV-Sign（タイムスタンプ専用）は、設定された監視フォルダーに作成されたファイルを検知し、電子署名を付与します。

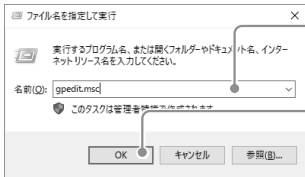
また、手動でも選択した PDF ファイルなどに対して電子署名を付与することができます。

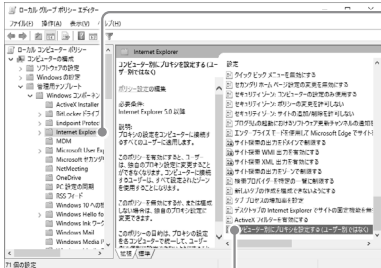
自動・手動にかかわらず PDF ファイル以外に対しては頭紙として PDF ファイルを利用することで電子署名が付与されます。


プロキシ設定をおこなう

インターネット接続の際にプロキシを使用する場合は、事前に以下の設定をおこなってください。

- 1 [スタート] → [Windows システムアプリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリック

- 2 
 - ① gpedit.msc と入力
 - ② [OK] をクリック
⇒グループポリシーエディターが起動します。

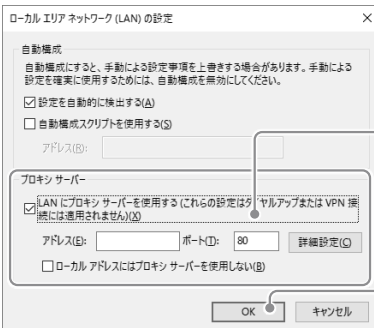
- 3 
 - ①以下の順にクリック
[コンピューターの構成] →
[管理用テンプレート] →
[Windows コンポーネント] →
[Internet Explorer]
 - ② [コンピューター別にプロキシを設定する（ユーザー別ではなく）] をダブルクリック

- 4 
 - ① [有効] を選ぶ
 - ② [OK] をクリック

5 プロキシサーバーの設定をおこなう

- ① Internet Explorer を起動し、画面右上の  [設定] → [インターネット オプション] をクリック

- ② [接続] タブをクリックし、[LAN の設定] をクリック

- ③ 
 - 1) プロキシサーバーを設定する
 - 2) [OK] をクリック

以上で、設定完了です。次ページにお進みください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

Adobe Acrobat Reader を入手し、設定する

Adobe Acrobat Reader は、本アプリの出力データの閲覧などに使用します。

インストールされていない場合は、以下からダウンロードしインストールしてください。

<https://get.adobe.com/jp/reader/>

● Adobe Acrobat Reader で署名済み PDF ファイルを検証するための設定

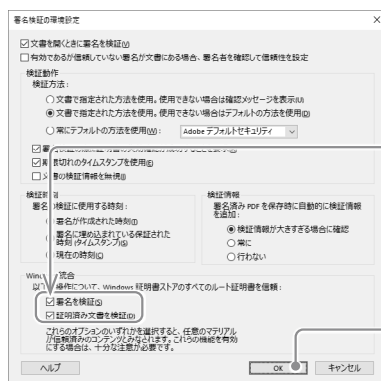
1 Acrobat Reader を起動し、メニューの [編集] → [環境設定] をクリック

2 ① [署名] をクリック



② 検証の [詳細] をクリック

3 ① Windows 統合の [署名を検証] と [証明済み文書を検証] にチェックをつける



② [OK] をクリック

以上で、初期設定は完了です。LTV-Sign（タイムスタンプ専用）を起動してください。

LTV-Sign（タイムスタンプ専用）の使い方には、以下のヘルプをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/lib/manual/ltv-sign-timestamp/>



電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、必ず以下のいずれかの手順にしたがってください。

ご注意

- 外付 HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付 HDD やプリンターの電源を切ってください。
- ファイルコピー中に本製品や外付 HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付 HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- 長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

本製品の電源ボタンでシャットダウンする場合

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ご注意

- 電源ボタンを長押し（3 秒以上）しないようご注意ください。3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。
- 本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。その場合は、USB キーボードでロックを解除してから電源ボタンを押してください。

前面の電源ボタンを押す



Windows のリモートデスクトップにてシャットダウンする場合

スタートメニューから [終了オプション] をクリックし、[シャットダウン] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

※ [説明] を入力してください。入力しないと、[OK] ボタンがクリックできません。

※ [オプション] は、必要に応じて選択してください。

シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

機能について詳しくはヘルプをご覧ください

本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]をご覧ください。

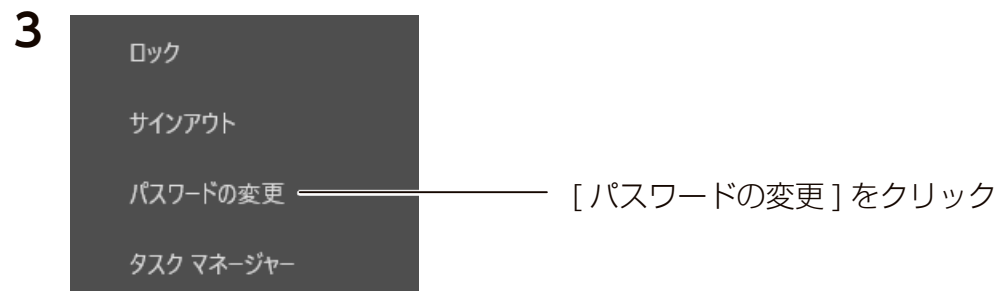
パスワード変更

セキュリティのため、管理者パスワードは出荷時設定から変更することをおすすめします。

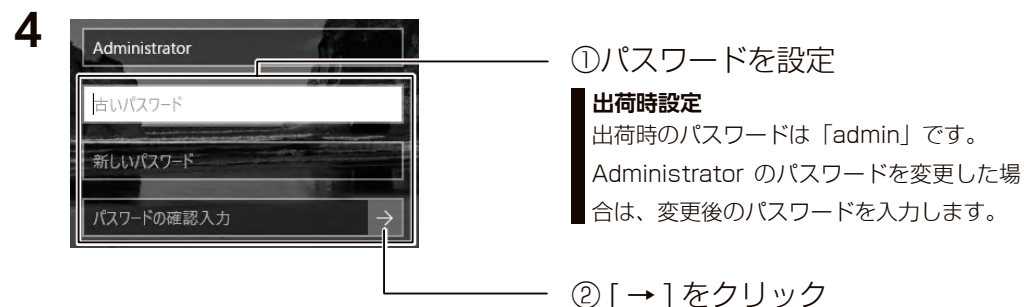
1 Administrator でログオンする

2 ●リモートデスクトップ接続の場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す

●本製品にキーボード等を接続しているの場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す



[パスワードの変更] をクリック



①パスワードを設定

出荷時設定

出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

② [→] をクリック

以上で、設定は完了です。

IP アドレス設定

1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの [コントロールパネル] をクリック

2 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリック

3 [アダプターの設定の変更] をクリック

4 ①設定する LAN アダプターを
右クリック

② [プロパティ] をクリック

5 ① [インターネットプロトコル
バージョン 4(TCP/IPv4)] を
選ぶ

② [プロパティ] をクリック

6 ① IP アドレスを設定

② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

バックアップと復元

Windows 標準の「バックアップと復元」を使用してバックアップを作成します。
以下の操作ができます。

- ・バックアップ設定（スケジュールバックアップ）
- ・復元（ベアメタル回復）

ベアメタル回復とは？

データが記録されていない HDD に対して、リカバリーをすることです。

事前に決まった形式でバックアップをとっておくことで、障害発生以前に稼動していたシステムの状態に復旧させることができます。

ベアメタル回復をおこなうためには、あらかじめ OS、アプリケーション、各種設定情報・構成情報などを VHD ファイルやディスクイメージファイルでバックアップしておく必要があります。

重大なシステム障害が発生した際には、そのバックアップからリカバリー（回復）できます。

バックアップ先に利用するディスクについて

バックアップ先には、NTFS フォーマットの USB HDD をご用意ください。

※ NTFS フォーマットで無い場合は、正常にバックアップできません。

※フォーマット方法は、USB HDD の取扱説明書をご確認ください。

対応 HDD は、【対応外付 HDD、対応 UPS、ハードウェア仕様】（8 ページ）をご覧ください。

ご注意

- バックアップを実行する際に、USB HDD のフォーマットをおこなう場合があります。
事前に、必要なデータは他のドライブにコピーするなどバックアップしてください。

BitLocker 暗号化済みの USB HDD を利用する場合

BitLocker 暗号化を解除した状態で、バックアップ設定をおこなってください。

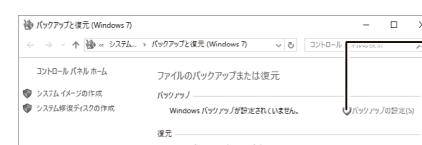
また、バックアップのスケジュール設定後も BitLocker 暗号化を解除した状態にしておいてください。

バックアップする

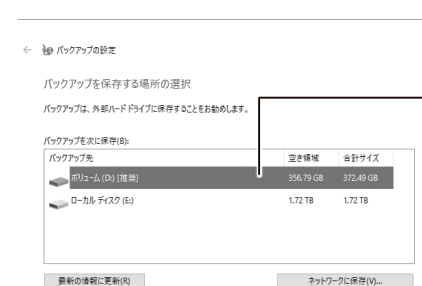
- 1 Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック

- 2 [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック

- 3 [バックアップの設定] をクリック



- 4 ①バックアップを保存する外付け HDD を選ぶ



①バックアップを保存する外付け HDD を選ぶ

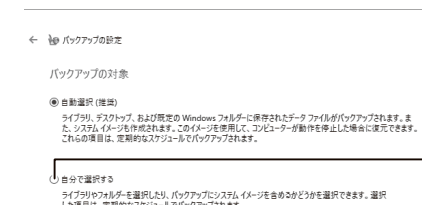
② [次へ] をクリック



目的の USB HDD が表示されない

- USB HDD の接続を確認してください。
- BitLocker 暗号化をしている場合は、解除してから [最新の情報に更新] をクリックしてください。

- 5 ① [自分で選択する] を選ぶ



② [次へ] をクリック



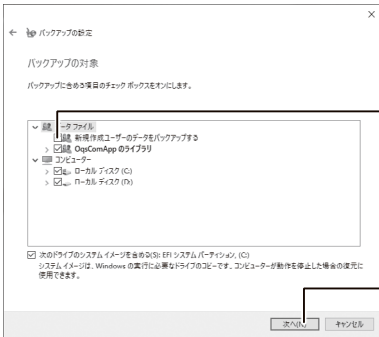

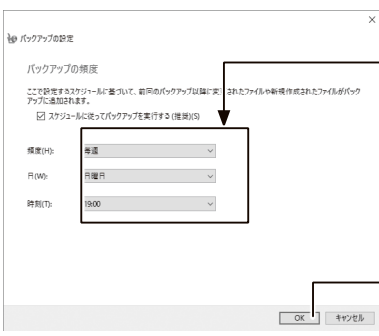

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

- 6**
- 
- ①バックアップするデータにチェックをつける
- ② [次へ] をクリック
- 7**
- 
- [スケジュールの変更] をクリック
- 8**
- 
- ①バックアップスケジュールを設定
- ※スケジュール設定しない場合は、[スケジュールに従ってバックアップを実行する]のチェックを外します。
- ② [OK] をクリック
- 9**
- 
- 内容を確認し、[設定を保存してバックアップ] をクリック

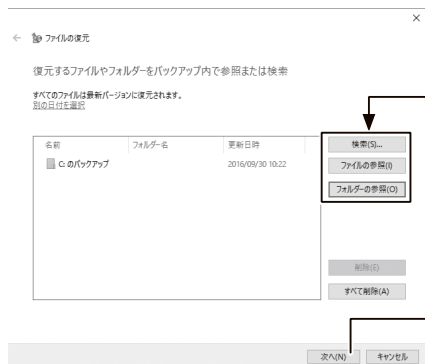
以上で、バックアップ設定は完了です。
初回のバックアップが開始されます。

バックアップデータから復元する

バックアップデータから、ファイルやフォルダーを選択して復元する方法を説明しています。
ベアメタル回復をおこなう場合は、【ベアメタル回復】(39 ページ)をご覧ください。

- 1** Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック
- 2** [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック

- 3**
- 
- [ファイルの復元] をクリック

- 4**
- 
- ①クリックして復元するファイルやフォルダーを選ぶ
- ② [次へ] をクリック

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

5 ①復元する場所を指定



② [復元] をクリック



6 [完了] をクリック



以上で、復元は完了です。

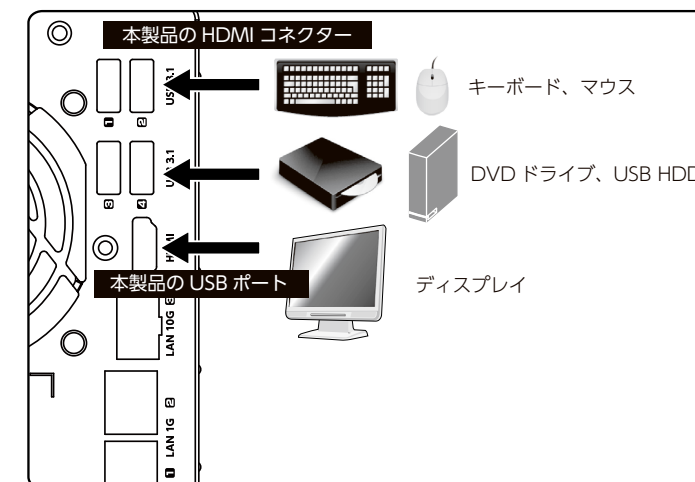
ベアメタル回復

バックアップ設定時に、システムイメージを含めたバックアップをおこなっている場合は、以下の方法でベアメタル回復が実行できます。

準備するもの

- ①次の機材を用意します。
 - ・ HDMI 接続のディスプレイ
 - ・ USB キーボード、マウス
 - ・ USB 接続の DVD ドライブ
 - ・ 本製品添付のサポート DVD
 - ・ バックアップデータが保存された USB HDD

②本製品の電源を OFF にしてから、上記の機材を本製品に接続します。



※ 上記以外の機器は接続しないでください。

ベアメタル回復を実行する

- 1 DVD ドライブにサポート DVD をセットし、本製品の電源を入れる
 - ※リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。
 - ※「Press any key to boot from CD or DVD....」と表示された場合は、キーボードのキーを押してください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

- ① 本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
 - ② カーソルキーで [Boot] を選ぶ
 - ③ カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
 - ④ [UEFI USB CD/DVD:UEFI: xxxx] を選び、Enter キーを押す
(xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名)
 - ※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
 - ⑤ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す
- 以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2 キーボードの R を入力し [Enter] キーを押す
(「R - Windows Recovery Environment を起動する」を選択します。)

3 キーボードレイアウトの選択で、[Microsoft IME] を選び、
[Enter] キーを押す

4 オプション選択で、[トラブルシューティング] を選び、
[Enter] キーを押す

5 詳細オプションで、[イメージでシステムを回復] を選び、
[Enter] キーを押す
※バックアップ保存先として BitLocker 暗号化がされた USB HDD を使用している場合、
BitLocker 暗号化時に発行される 48 桁の回復パスワードを入力します。

6 システムイメージバックアップの選択で、バックアップイメージ
を選択し、[次へ] をクリック

7 復元方法の確認で、[次へ] をクリック

8 復元するバックアップイメージを確認し、[完了] をクリック

9 [はい] をクリック

C ドライブの復元を開始します。

復元が完了すると「今すぐコンピュータを再起動しますか？」のメッセージが表示されます。一定時間経過すると自動で再起動が始まりますので、このメッセージが表示されている間に DVD を取り外し、続けて D ドライブの復元をおこないます。(次ページ参照)

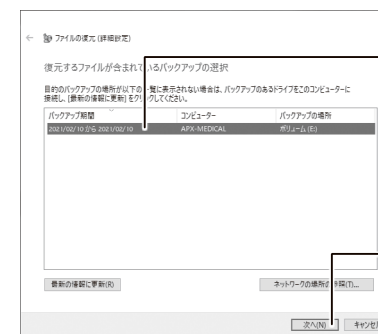
10 Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック

11 [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック

12 [ファイルの復元元として別のバックアップを選択します] をクリック

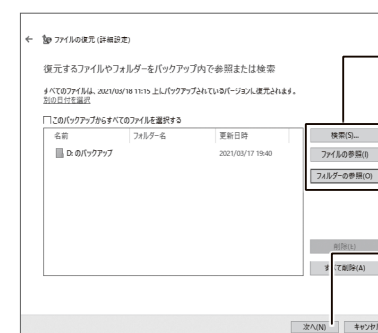


13 ① 復元するバックアップを選ぶ



② [次へ] をクリック

14 ① クリックして復元するファイルやフォルダーを選ぶ
※ここで C : は選択する必要はありません。



② [次へ] をクリック

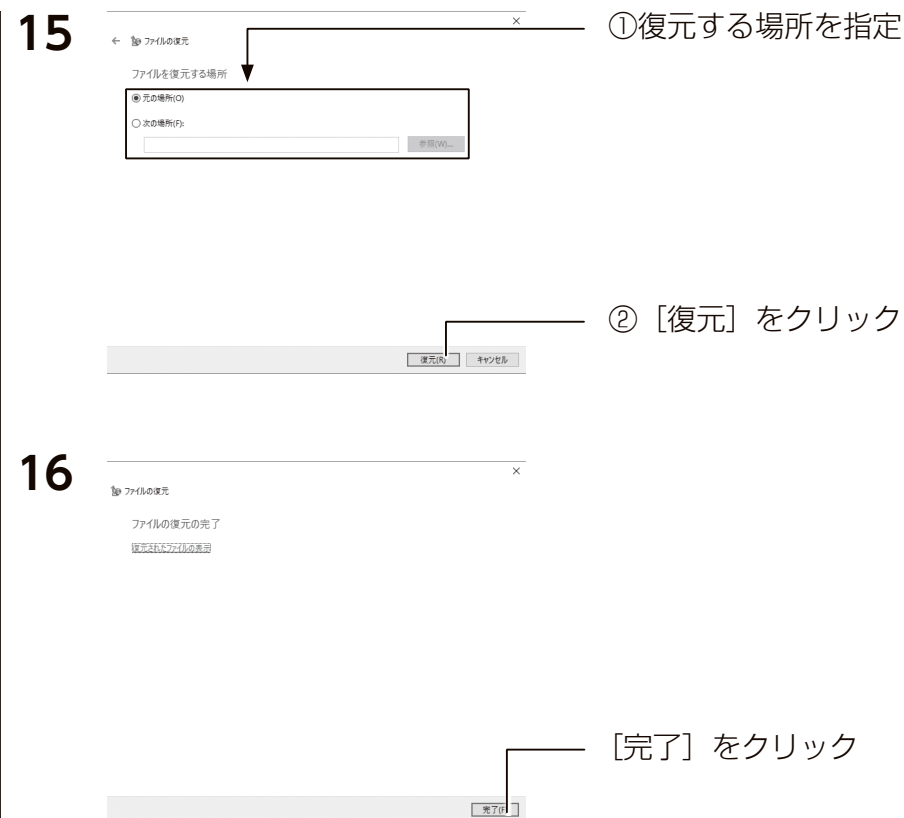
使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料



以上で、復元は完了です。

故障時の対応

困ったときには

タイムスタンプの確認（検証）に失敗する

- ①ご利用のパソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。
- ②最新の Adobe Acrobat Reader であることをご確認ください。
- ③ Adobe Acrobat Reader の [編集] → [環境設定] をクリックし、[信頼性管理マネージャー] の [Adobe Approves Trust List (AATL) の自動更新] 内の [今すぐ更新] をクリックしてください。



- ①～③の操作をおこなった後、いったん Adobe Acrobat Reader を閉じて、再度お試しください。

ZWS Manager について

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定を行う管理ソフトです。

ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。

初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

ログ・メール一覧など詳しくは ZWS Manager ヘルプをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/index.html>



使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

故障と思ったら…

故障した HDD ランプは赤点灯します。

▼故障の状態と対処

その他の状態については、【ランプの状態】（47 ページ）をご覧ください。

STATUS	HDD	ブザー*	動作内容	対処
赤点滅	該当HDD 赤点灯	ピッピッ、 ピッピッ …	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、修理をご依頼ください。
赤点滅	全 HDD 赤点灯	ピーポー、 ピーポー …	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、修理をご依頼ください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。

※ RAID に変化があったときにブザーが鳴ります。
ブザーが鳴った場合、Func ボタンを押すか、ZWS Manager で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

ご注意

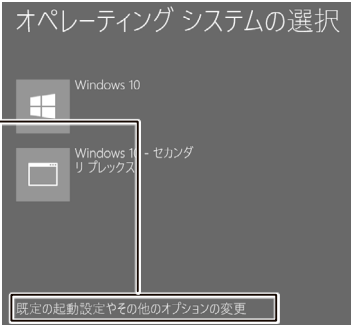
● RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一来に備えて定期的にバックアップをお取りください。

起動ドライブ（HDD1）が故障した場合

起動ドライブ（HDD1）が故障した場合は、起動時にエラー画面が表示されます。
出荷時設定の RAID 1 で使用している場合は、HDD 2から起動できます。
以下の手順で既定のオペレーティングシステムを選択してください。

- ①表示されたエラー画面で [F9] キーを押す
②「オペレーティングシステムの選択」画面で、
 [既定の起動設定やその他のオプションの変更] をクリック
③ [既定のオペレーティングシステムの選択] をクリック
④ [Windows 10 - セカンダリ ブレックス] をクリック

以上で、HDD2 からの起動が既定になりました。
[Windows 10 - セカンダリ ブレックス] から起動し、
故障ディスクの交換、再構築をおこなってください。



故障の場合は…

別紙【オンサイト保守パックのご利用案内】をご確認いただき、ISS にお問い合わせください。

システムリカバリーする

ご注意

●システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
●システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
●システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。

ステップ 1 準備する

- 1 次の機材を用意する
ディスプレイ、USB キーボード、USB 接続の DVD ドライブ（USB 2.0 対応のもの）、本製品添付のリカバリーメディア
- 2 本製品の HDMI コネクタにディスプレイをつなぐ
- 3 本製品の USB ポートに USB キーボードをつなぐ
- 4 本製品の USB ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。
※ 上記以外の機器は接続しないでください。

次ページの【ステップ2】へお進みください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

ステップ 2 リカバリーを実行する

- 1
- DVD ドライブにリカバリーメディアをセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。
※「Press any key to boot from CD or DVD....」と表示された場合は、キーボードのキーを
押してください。

リカバリープログラムが起動しない場合

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつつけて、BIOS 設定画面を起動する
②カーソルキーで [起動] を選ぶ
③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
④ [UEFI USB CD/DVD:UEFI: xxxx] を選び、Enter キーを押す
（xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名）
※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
⑤変更を保存して終了する
以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

- 2
- キーボードの 1 を入力し [Enter] キーを押す
（「1 - RAID モードでリカバリー」を選択します。）
- 3
- 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか？ (yes/no)」で、[yes]
と入力して、[Enter] キーを押す
リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度必要です。

「リカバリーが正常に完了しました。リカバリーメディアを抜いてください。
何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、システムリカバリーは完了
です。
リカバリーメディアを本製品から取り外し、何かキーを押します。
再起動後、システム領域にリビルドが行われます。
※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

以上でリカバリーは完了です。

ご注意

- Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。

資料

タイムスタンプ仕様

利用タイムスタンプ	セイコータイムスタンプサービス Accredited Type A2
利用電子署名	PDF 長期署名 (PAdES)
有効期間	10 年
電子署名可能なファイル	PDF 署名できるファイルには以下の制限があります。 ・署名可能な PDF の最大サイズ：350MB ・添付可能なファイルの最大サイズ：195MB ・添付可能なファイル数：20 ・添付ファイルの合計サイズ：350MB ※本製品では、PDF 以外のファイルは PDF 頭紙（台紙）の添付ファイルとして扱われ ます。

出荷時設定

コンピューター名	APX-EVID
ワークグループ名	WORKGROUP
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID 1

ランプの状態

カテゴリ	STATUS	HDD	ブザー※1	動作内容	対応
通常稼動時	緑点灯	緑点灯	なし	—	—
RAID 再構築	緑点滅	緑点滅	ピロツ	RAID 再構築中のとき	RAID を再構築中です。再構築が完了するまで HDD の抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当 HDD 赤点灯	ビッビッ、 ピッピッ …	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディ スクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全 HDD 赤点灯	ピーポー、 ピーポー …	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、 ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラー がある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなっ た場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全 HDD 赤点灯	なし	起動 HDD がいない時	起動 HDD が接続されていません。HDD が正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	緑点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検 知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動し ていることを確認してください。

※ 1 RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、[Func.] ボタンを押す、または、
「ZWS Manager」上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

使う前

導入する



その他の設定

故障と思ったら…

資料

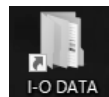
対応ソフトウェア

本製品では、次のソフトウェアが利用できます。

データコピー for Windows	<p>本製品のリプレイス時などに古い本製品からデータをコピーできるデータコピーツールです。</p> <p>また、Linux 系 OS を搭載した当社オリジナル OS モデルや他社製 NAS からスムーズに新しい LAN DISK Z シリーズへコピーできます。</p> <p>また、スケジュール設定やコピー元の ACL 情報のコピーにも対応しています。詳しくは次のサイトをご覧ください。</p> <p>https://www.iodata.jp/product/app/nas/datacopy-for-windows/index.htm</p> 
クローン for Windows	<p>2台の本製品の共有フォルダーを定期的に同期させ、本製品の故障からの復旧時間を大幅に短縮させるバックアップソフトです。</p> <p>万一、メイン機が故障した場合でも、バックアップ機に切り替えるだけですぐに運用を再開することができます。</p> <p>また、古くなった Windows Server 2003 搭載サーバーから新しい本製品にデータを移行する場合も利用できます。</p> <p>詳しくは次のサイトをご覧ください。</p> <p>https://www.iodata.jp/biz/cloneforwindows/</p> 

各ソフトウェアのご利用方法

本製品を起動し、デスクトップ上の [I-O DATA] フォルダーを開き、保存されている各ソフトウェアアイコンをダブルクリックします。



- ・クローン for Windows は、インストーラーが起動します。画面の指示にしたがってください。
- ・データコピー for Windows は、インストール不要です。

※詳しくは、ソフトウェアの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
 ※ソフトウェアのファイルを消してしまった場合は、【対応ソフトウェアのダウンロード方法】(49 ページ) をご覧ください。

対応ソフトウェアのダウンロード方法

- 1 以下の Web ページにアクセスする
<https://ioportal.iodata.jp/>

ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください

ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

- 2



IOPortal へログイン

はじめて登録する場合
 [新規会員登録へ] をクリックし、画面の指示にしたがってください。

- 3



[製品を登録する] をクリック

- 4



①本製品のシリアル番号を入力

②[製品を登録する] をクリック

- 5



内容を確認して、
 [製品を登録する] をクリック

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら...

資料

6



[登録製品の一覧へ戻る] を
クリック

7



目的のソフトウェアの
[ダウンロード] をクリック

8



ここで画面で見るマニュアルが
ダウンロードできます。

お使いの OS をクリック

9



[ダウンロード] をクリック

これでソフトウェアのダウンロードは完了です。

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報 は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



<https://www.iodata.jp/lib/>

電話でのお問い合わせ

050-3000-6569

受付 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk>

使う
前に

導入
する

その
他の
設定

故障
と思
った
ら…

資
料

保証期間

5年間

修理について

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- ☐ 商品一式
- ☐ 申込番号を書いたメモ (Web申込時に発行された番号)
- ☐ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛

TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

WINDOWS 10 IOT ENTERPRISE (すべてのエディション) 最終更新日 [2016 年 4 月]

お客様の居住地 (またはお客様の会社の主たる業務地) が米国内である場合、第 9 条に記載されている拘束力のある仲裁と集団訴訟の権利放棄について内容を注意深くお読みください。第 9 条は、紛争を解決する方法に影響を及ぼします。マイクロソフトをお選びいただきありがとうございます。

お客様が本 Windows ソフトウェアを取得された方法に応じて、本文は、(i) お客様のデバイスと共に本ソフトウェアを頒布するデバイス製造業者またはソフトウェア インストール業者とお客様の間で、または (ii) お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地もしくは会社の場合は主たる業務地に応じたその関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) の間で、締結されるライセンス契約書です。マイクロソフトは、マイクロソフトまたはそのいずれかの関連会社が生産したデバイスのデバイス製造業者であり、お客様が本ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得された場合は小売業者となります。

本ライセンス条項には、本 Windows ソフトウェアを使用するお客様の権利および条件を規定しています。すべての条項が重要であり、一体となってお客様に適用される本ライセンス条項を形成するため、本ソフトウェアに付属する、印刷されたライセンス条項およびリンク先の条項を含む本ライセンス条項全文を確認してください。お客様は、ブラウザー ウィンドウに (aka.ms/) リンクを貼り付けることで、リンク先の条項を確認できます。

お客様は、本ライセンス条項に同意するか、または本ソフトウェアを使用することにより、これらすべての条項に同意し、ライセンス認証中およびお客様が本ソフトウェアを使用する際に第 3 条に記載されているプライバシーに関する声明に従って特定の情報が送信されることに同意するものとします。お客様がこれらの条項に同意せず、またこれらの条項を遵守しない場合、本ソフトウェアまたはその機能を使用することはできません。この場合、デバイス製造業者もしくはインストール業者に、または本ソフトウェアを直接購入された場合はご利用の小売業者に、問い合わせて、返品方針を確認してください。この方針に基づいて本ソフトウェアまたはデバイスを返品し、お支払いいただいた金額の払い戻しを受けられる場合があります。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているデバイス全体を返品することが求められる場合があります。

1. 概要
- a. 適用対象。本ライセンス条項は、お客様のデバイスにプレインストールされている、または小売業者から取得してお客様がインストールした本 Windows ソフトウェア、お客様が本ソフトウェアを受領したときのメディア (存在する場合)、本ソフトウェアに含まれるフォント、アイコン、画像、または音声ファイル、および本ソフトウェアに対するマイクロソフトの更新プログラム、アップグレード、追加ソフトウェア、またはサービスに適用されます。ただし、これらにその他の条項が付属している場合は、その限りではありません。マイクロソフトが開発し、Windows に含まれてその一部となっている機能 (メール、カレンダー、連絡先、ニュースなど) を提供する Windows アプリケーションにも適用されます。本ライセンス条項お客様のデバイスで利用できない機能またはサービスに関する条項が含まれている場合、当該条項は適用されません。
- b. 追加条項。お客様のデバイスの機能、構成内容、および使用方法に応じて、お客様による特定の機能、サービス、およびアプリケーションの使用にマイクロソフトおよび第三者の追加条項が適用される場合があります。
- (i) 一部の Windows アプリケーションは、オンライン サービスへのアクセス ポイントを提供するか、オンライン サービスに依存しています。そのため、これらのサービスの利用には、(aka.ms/msa) に掲載されている Microsoft サービス規約などの別述の条項およびプライバシー ポリシーが適用される場合があります。お客様は、これらの条項およびポリシーを、サービス使用条件またはアプリケーションの設定 (該当する場合) を参照することで確認できます。注意してお読みください。これらのサービスを利用できない地域がある場合もあります。
- (ii) 製造業者またはインストール業者は、アプリケーションをプレインストールすることもできます。かかるアプリケーションには、別途のライセンス条項が適用されます。
- (iii) 本ソフトウェアには、Adobe Flash Player などの、第三者独自の条項に基づいて使用許諾される第三者のソフトウェアが含まれていることがあります。お客様は、お客様による Adobe Flash Player の使用には、(aka.ms/adobeflash) で確認できる、Adobe Systems Incorporated のライセンス条項が適用されることに同意します。Adobe および Flash は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- (iv) 本ソフトウェアには、本ライセンス条項に基づいて、第三者からではなく、マイクロソフトからお客様にライセンスされる第三者のプログラムが含まれている場合があります。第三者のプログラムの注意事項がある場合は、お客様への参考情報としてのみ含まれます。
2. インストールおよび使用権
- a. ライセンス。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項に基づいて、マイクロソフトは、一度に 1 人のユーザーが使用することを目的として、お客様のデバイス (ライセンスを取得したデバイス) に 1 つのインスタンスをインストールして実行する権利を許諾します。ただし、お客様が本ライセンス条項のすべての条項を遵守することを条件とします。マイクロソフトまたは正規の提供元から取得した本ソフトウェアを使用して非正規のソフトウェアを更新またはアップグレードしても、元のバージョンまたは更新もしくはアップグレード後のバージョンは正規のソフトウェアにはならず、この場合、お客様は本ソフトウェアを使用するライセンスを取得していないことになります。
- b. デバイス。本ライセンス条項では、「デバイス」とは、内部記憶装置を搭載して本ソフトウェアを実行することのできる物理的ハードウェア システムを意味します。ハードウェアのパーティションまたはブレードはデバイスと見なされます。
- c. 制限。製造業者またはインストール業者、およびマイクロソフトは、本ライセンス条項において明示的に許諾されていない権利 (知的財産に関する法律に基づく権利など) をすべて留保します。たとえば、このライセンスは、次の行為に関してお客様にいかなる権利も与えるものではなく、お客様は次の行為を行うことはできません。
- (i) 本ソフトウェアの機能を分離して使用または仮想化すること。
- (ii) 本ソフトウェアを公開、複製 (許可されているバックアップ用の複製を除きます)、レンタル、リース、または貸与すること。
- (iii) 本ソフトウェアを譲渡すること (本ライセンス条項で許諾されている場合を除きます)。
- (iv) 本ソフトウェアの技術的な制限を回避すること。
- (v) 本ソフトウェアをサーバー ソフトウェアとして使用することもしくは商業的ホスティング用に使用すること、本ソフトウェアをネットワークを介して複数のユーザーが同時に使用できるようにすること、本ソフトウェアをサーバーにインストールしてユーザーがリモート アクセスできるようにすること、または本ソフトウェアをリモート ユーザーのみが使用する目的でデバイスにインストールすること。
- (vi) 本ソフトウェアをリパース エンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブルすること、またはこれらの行為を試みることに。ただし、お客様の居住地 (または会社の場合は主たる業務地) の法令において、禁止の合意にもかかわらずこれらの行為が許可されている場合のみ、この制限に関係なく、このような行為も法の範囲で許可されます。
- (vii) インターネット ベースの機能を使用している場合、第三者によるこれらの機能の使用を妨げる可能性のある方法で、またはサービス、データ、アカウント、もしくはネットワークに不正な方法でアクセスを試みるために、これらの機能を使用すること。
- d. 複数使用のシナリオ。
- (i) 複数のバージョン。複数のバージョン (例: 32 ビット版と 64 ビット版) が提供される本ソフトウェアを取得した場合、お客様が同時にインストールしてライセンス認証できるのはそのいずれか 1 つのバージョンのみです。
- (ii) 複数接続またはプールされた接続。マルチプレキシングもしくは接続をプールするために、または本ソフトウェアにアクセスもしくはこれを使用するデバイスもしくはユーザーの数を減らすためにハードウェアもしくはソフトウェアを使用しても、お客様に必要なライセンスの数が減ることはありません。お客様は、使用している本ソフトウェアのインスタンスすべてのライセンスを取得している場合にも、これらのハードウェアまたはソフトウェアを使用できます。
- (iii) デバイスの接続。お客様は、ライセンスを取得したデバイスでファイル サービス、印刷サービス、インターネット インフォメーション サービス、インターネット接続の共有およびテレフォニー サービスを利用することを目的として、ライセンスを取得したデバイスにインストールされた本ソフトウェアに対し、最大 20 台の他のデバイスからの接続を許可することができます。上記の 20 台という接続数制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介して本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は、任意の数のデバイスに、デバイス間でデータを同期するために、ライセンスを取得したデバイス上の本ソフトウェアにアクセスすることを許可することができます。ただし、本項は、お客様がこれらの他のデバイスに本ソフトウェアをインストールしたり、本ソフトウェアの主要な機能 (本項に記載する機能を除きます) を当該デバイス上で使用したりする権利を有することを意味するものではありません。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

- (iv) リモート アクセス。ユーザーは、リモート アクセス テクノロジを使用して他のデバイスから、ライセンスを取得したデバイスにアクセスできますが、当該他のデバイスにおいて本ソフトウェアと同等以上のエディションを実行するライセンスが別途取得されている場合に限ります。
- (v) リモート アシスタンス。お客様は、リモート アシスタンス テクノロジを使用して、本ソフトウェアの追加ライセンスを取得せずに、アクティブなセッションを共有できます。リモート アシスタンスを使用すると、通常は問題を修正するために、あるユーザーが別のユーザーのコンピューターに直接接続することができます。
- (vi) 特定用途。製造業者は、ライセンスを取得したデバイスを特定用途向けに設計しました。お客様は、当該用途に限り本ソフトウェアを使用することができます。
- (vii) POS アプリケーション。本ソフトウェアが小売店の販売時点管理デバイスにインストールされている場合、本ソフトウェアを販売時点管理アプリケーション（以下「POS アプリケーション」といいます）と共に使用することができます。POS アプリケーションは、以下の機能のみを提供するソフトウェアアプリケーションです。(i) 販売およびサービス トランザクションの処理、在庫の検出と追跡、顧客情報の記録および送信、ならびに関連する管理機能の実行、または (ii) 利用可能な製品およびサービスに関する情報の、直接的および間接的な顧客への提供。お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。(i) 本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。または (ii) システム コーディリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。明確にするために付言すると、現金自動預け払い機（以下「ATM」といいます）は小売店の販売時点管理デバイスではありません。
- (viii) クラウド コンピューティング デバイス。お客様のデバイスでインターネット閲覧機能を使用してクラウド ホスト型アプリケーションに接続およびアクセスする場合、(i) そのデバイスでデスクトップ機能をローカルに実行することはできず、(ii) デスクトップ機能を使用して作成されたファイルは産業システムに永続的に保存されないことがあります。本ライセンス条項において「デスクトップ機能」とは、コンピューターまたはコンピューティングデバイスにより実行されるコンピューター タスクもしくはプログラムまたはビジネス タスクもしくはプロセスを意味します。これには、ワード プロセッシング、表計算、データベース、スケジュール作成、家計簿が含まれます。
- e. バックアップ用の複製。お客様は、バックアップ目的で本ソフトウェアの複製 1 部を作成できます。また、本ソフトウェアをスタンドアロン ソフトウェアとして取得した場合は、以下に規定するとおり、そのバックアップ用の複製を使用して、本ソフトウェアを移管することができます。
3. プライバシー、データの使用への同意。お客様のプライバシーは、マイクロソフトにとって重要です。本ソフトウェアの一部の機能については、当該機能を使用する際に情報が送受信されます。これらの機能の多くは、ユーザー インターフェイスで無効にするか、使用しないように選択することができます。お客様は、本ライセンス条項に同意し、本ソフトウェアを使用することで、マイクロソフトが、Microsoft プライバシーに関する声明の記載 (aka.ms/privacy)、および本ソフトウェアの機能と関連付けられているユーザー インターフェイスの記載に従って、情報を収集、使用、および開示することに同意します。
4. 第三者への譲渡。
- a. デバイスにプレインストールされたソフトウェア。お客様は、デバイスにプレインストールされた本ソフトウェアを取得した場合、ライセンスを取得したデバイスと共にのみ、本ソフトウェアを使用するライセンスを別のユーザーに直接譲渡することができます。お客様は、本ソフトウェア、およびデバイスと共に提供された場合は、プロダクト キーを含む正規の Windows ラベルを含めて譲渡しなければなりません。許諾された譲渡を行う前に、本ソフトウェアの譲渡者は本ライセンス条項が譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。
- b. スタンドアロン ソフトウェア。お客様は、本ソフトウェアをスタンドアロン ソフトウェアとして取得した場合、お客様が所有する他のデバイスに本ソフトウェアを移管することができます。また、(i) お客様が本ソフトウェアの最初のライセンス ユーザーであり、また、(ii) 新しいユーザーが本ライセンス条項の条件に同意すれば、本ソフトウェアをそのユーザーが所有するデバイスに移管できます。お客様は、本ソフトウェアを移管するために、当社がお客様に作成を許可したバックアップ用の複製、または本ソフトウェアを収録したメディアを使用することができます。お客様が本ソフトウェアを新しいデバイスに移管する場合は必ず、本ソフトウェアを以前のデバイスからアンインストールしなければなりません。デバイス間でライセンスを共有する目的で本ソフトウェアを移管することはできません。
5. 許可されたソフトウェアおよびライセンス認証。お客様は、適切にライセンスを取得しており、本ソフトウェアが正規のプロダクト キーまたはその他の許可された方法で適切に有効化およびライセンス認証されている場合限り、本ソフトウェアを使用することが許可されます。お客様が本ソフトウェアの使用中にインターネットに接続したときに、本ソフトウェアによってマイクロソフトまたはその関連会社への問い合わせが自動的に行われ、本ソフトウェアが正規のものであることが確認され、そのライセンスがライセンスを取得したデバイスに関連付けられます。本ソフトウェアのライセンス認証は、インターネットまたは電話により、手動で行うこともできます。いずれの場合も、一定の情報が送信され、インターネット、電話、および SMS サービスの料金が発生することがあります。本ソフトウェアでは、ライセンス認証（またはお客様のデバイスのコンポーネントを変更すると必要になる場合があるライセンス再認証）の際に、本ソフトウェアのインストール済みのインスタンスが偽造品であるか、ライセンスが適切に取得されていないか、不正な変更が含まれているか、が確認されることがあります。ライセンス認証に失敗した場合、変更されたマイクロソフト ソフトウェアを正規のマイクロソフト ソフトウェアに置き換えることで本ソフトウェアの修復を試みられます。また、本ソフトウェアの適切なライセンスを取得するよう求める通知がお客様に表示されることがあります。ライセンス認証を無視または回避することは、禁止されています。お客様のソフトウェアが正規のものであるかどうか、およびお客様が適切にライセンスを取得しているかどうかを確認するには、(aka.ms/genuine) をご覧ください。特定の更新プログラム、サポート、およびその他のサービスは、正規のマイクロソフト ソフトウェアのユーザーにのみ提供される場合があります。
6. 更新。お客様は、マイクロソフトまたは正規の提供元からのみ更新プログラムを取得できます。マイクロソフトは、当該更新プログラムをお客様に提供するために、お客様のシステムを更新する必要がある場合があります。本ソフトウェアでは、システムおよびアプリケーションの更新プログラムが定期的に確認され、自動的にダウンロードおよびインストールされる場合があります。お客様のデバイスで自動更新が有効になっている場合、お客様は、本ライセンス条項に同意することにより、追加通知なくこのような種類の自動更新プログラムを受け取ることに同意するものとなります。
7. 地理的制約と輸出規制。お客様による本ソフトウェアの使用が特定の地域に制限されている場合、お客様はその地域でのみ本ソフトウェアのライセンス認証を行うことができます。また、お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。地理的制約および輸出規制の詳細については、(aka.ms/georestrict) および (aka.ms/exporting) をご覧ください。
8. サポートおよび払い戻し手続きソフトウェア全般のサポート オプションについては、デバイス製造業者またはインストール業者にお問い合わせください。その際、本ソフトウェアと共に提供されるサポート番号をお知らせください。更新プログラムおよび追加ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得した場合、適切にライセンスを取得したソフトウェアについて、マイクロソフトから限定サポート サービスが提供されることがあります。詳細については、(aka.ms/mssupport) をご覧ください。お客様が払い戻しを要求する場合、製造業者またはインストール業者にお問い合わせ、返金方針を確認してください。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているデバイス全体を返送することが求められる場合があります。
9. お客様の居住地（または会社の場合は主たる業務所地）が米国内である場合の拘束力のある仲裁と集団訴訟の権利放棄
- 当社は紛争が発生しないことを願っています。ただし、紛争が発生した場合、お客様および当社は、60 日間、解決に向けて非公式に努力することに同意するものとなります。解決できなかった場合、お客様および当社は、連邦仲裁法（以下「FAA」といいます）に準拠した、米国仲裁協会（以下「AAA」といいます）による拘束力のある裁判の仲裁によって解決することに同意し、裁判官または陪審員による裁判所への提訴を行わないものとします。この場合、中立的な仲裁人が決定を下し、仲裁人の決定は、FAA に基づく限定された上訴権を除き、最終的なものとなります。集団訴訟、集団仲裁、司法長官による民事訴訟、およびいづれかの当事者が代表者として提起するその他の訴訟は許可されません。両当事者の同意なしに、個別の訴訟を併合することも許可されません。[当社] には、マイクロソフト、デバイス製造業者、およびソフトウェア インストール業者が含まれます。
- a. 紛争は知的財産権を除くすべてを対象とすること。[紛争] という用語は、可能な限り広い意味で使用します。紛争には、契約、不法行為、制定法、法令、規制を含むあらゆる法理に基づく、お客様と製造業者もしくはインストール業者の間、またはお客様とマイクロソフトの間における、本ソフトウェア、その対価、または本ソフトウェア条項に関するすべての請求または紛争が含まれます。ただし、お客様、お客様のライセンサー、当社、または当社のライセンサーの知的財産権の強制または有効性に関連する紛争を除きます。
- b. まず紛争通知を発送すること。紛争が発生し、当社のカスタマー サービス担当者が解決できなかった場合、紛争通知を米国郵便で製造業者またはインストール業者の法務部門宛てに送付します。お客様がマイクロソフトとの紛争を提起する場合、郵便にて Microsoft Corporation (ATTN: LCA ARBITRATION, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399) まで送付してください。その際、お客様の名前、住所、連絡方法、問題の内容、および要求事項をお知らせください。紛争通知フォームは、(aka.ms/disputeform) から入手できます。当社も、お客様との紛争を提起する場合、同様に通知を送付します。紛争が解決せずに 60 日経過した場合は当社は仲裁を開始することができます。
- c. 小額裁判所の選択。お客様は、小額裁判所の要件を満たしている場合、紛争通知を発送する代わりに、お客様の住所地（もしくは会社の場合は主たる業務所地）またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合は米国ワシントン州キング郡の小額裁判所でも、当社を提訴できます。紛争通知を発送して当社が解決に向けて努力する 60 日間の猶予を待つ必要はありませんが、お客様は、小額裁判所に提訴する前に、紛争通知を発送する必要はありません。
- d. 仲裁手続き。すべての仲裁は、AAA が、その商事仲裁規則（ただし、お客様が個人であり、本ソフトウェアを個人的にもしくは家庭で使用する場合、または、お客様が個人であるか本ソフトウェアをどのように使用するにかかわらず 75,000 ミドル以下の紛争の場合は、AAA の消費者仲裁規則）に基

づいて実施します。詳細については、www.adr.org を参照するか、1-800-778-7879 まで電話でお問い合わせください。仲裁を開始するには、(aka.ms/arbitration) で入手可能な仲裁請求用紙を AAA に提出し、その写しを製造業者もしくはインストール業者（またはお客様とマイクロソフトとの間の紛争である場合はマイクロソフト）に郵送します。25,000 ミドル以下の紛争では、仲裁人が対面による期日を聞く正当な理由があると判断した場合を除き、すべての期日は電話で行われます。対面による期日は、お客様の住所地（もしくは会社の場合は主たる業務所地）または当社の主たる業務所地（お客様とマイクロソフトの間の紛争である場合は米国ワシントン州キング郡）のいずれかお客様が選択する場所で実施するものとします。仲裁人は、裁判所と同じ賠償をお客様個人に認めることができます。仲裁人は、差し止め命令による救済または宣言的救済をお客様に対して個別に、お客様の個別の請求に応じるために、認めることができます。

e. 仲裁手数料および支払い

(i) 75,000 ミドル以下の紛争。製造業者もしくはインストール業者（またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合はマイクロソフト）は、お客様による申し立て手数料を速やかに払い戻し、AAA および仲裁人の手数料および費用を支払います。お客様が、仲裁人が指名される前に当社から提示された書面による最終和解を拒否し、お客様による紛争に対して仲裁人の決定（以下「裁定」といいます）まで行われ、仲裁人が当該最終和解を超える賠償をお客様に認めた場合、製造業者もしくはインストール業者（またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合はマイクロソフト）は、(1) 裁定と 1,000 ミドルのいずれか高いほうの金額を支払い、(2) お客様が負担する合理的な弁護士手数料がある場合は、その金額を支払い、ならびに (3) お客様の弁護士が仲裁においてお客様の請求について調査、準備、および追求するために発生した合理的な費用（鑑定人の手数料および費用を含む）を払い戻すものとします。金額についてお客様および当社が合意していない場合は、仲裁人が決定するものとします。

(iii) 75,000 ミドルを超える紛争。申し立て手数料、ならびに AAA および仲裁人の手数料および費用の支払いには、AAA 規則が適用されます。

(iii) 任意の金額の紛争。お客様が仲裁を開始した場合、当社は、かかる仲裁に根拠がない、またはかかる仲裁が不適切な目的で申し立てられたと仲裁人が判断した場合を除き、当社が負担する AAA もしくは仲裁人の手数料および費用、または払い戻したお客様の申し立て手数料支払いを要求しないものとし、当社が仲裁を開始した場合、当社は、申し立て、AAA、および仲裁人の手数料および費用を支払います。当社は、いかなる仲裁においても、当社が負担する弁護士の手数料または費用をお客様に要求しないものとし、手数料および費用は、係争金額を算定する際に、考慮に入れないものとします。

f. 1 年以内に申し立てること。お客様および当社は、いかなる請求または紛争（知的財産権に関する紛争を除きます。第 9 条 a 項をご参照ください）も、申し立てることが可能になった最初の日から 1 年以内に小額裁判所に申し立てるか、または仲裁を開始する申し立てなければなりません。1 年以内に申し立てなかった場合、かかる請求または紛争は永久に排除されます。

g. 可分性。集団訴訟の権利放棄が紛争全体または紛争の一部に対して違法または執行不能と判断された場合、その部分は仲裁ではなく裁判所で手続きが進められ、残りの部分は仲裁で手続きが進められるものとします。第 9 条に規定するその他の条項で、違法または執行不能と判断されたものがある場合、その条項は第 9 条の残りの条項とは切り離されますが、残りの条項は、引き続き適用されるものとします。

h. AAA 規則との不一致。本ライセンス条項と AAA の商事仲裁規則または消費者仲裁規則との不一致がある場合には、本ライセンス条項が適用されます。

i. 当事者または第三者が受益者としてのマイクロソフト。マイクロソフトがデバイス製造業者であるか、お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合、マイクロソフトが本ライセンス条項の当事者になります。それ以外の場合、マイクロソフトは、本ライセンス条項の当事者ではありませんが、お客様と製造業者またはインストール業者との間において裁判外交渉および仲裁を通して紛争を解決するという契約における第三者受益者です。

10. 準拠法。契約違反に対する請求、地域の消費者保護法、不正競争防止法、および黙示の保証に関する法令に基づく請求、不当利得返還請求、ならびに不法行為に基づく請求を含む、本ソフトウェア、その対価、または本ライセンス条項に関するすべての請求および紛争には、抵当法にかかわらず、お客様の住所（または会社の場合は主たる業務所地）の地域または国の法令が適用されます。ただし、仲裁に関するすべての規定は FAA に準拠するものとし、ます。

11. 消費者の権利、地域による差異。本ライセンス条項は、一定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本ライセンス条項の定めにかかわらず、消費者としての権利など、本ライセンス条項と異なる権利を有する場合があります。また、お客様は本ソフトウェアの取得取引の相手方に対して権利を取得できる場合もあります。本ライセンス条項は、お客様の地域または国の法令が権利の変更を許容しない場合、かかる本ライセンス条項以外の権利を変更しないものとします。たとえば、お客様が以下のいずれかの地域で本ソフトウェアを取得された場合、または当該国の強行法が適用される場合、以下の規定がお客様に適用されます。

a. オーストラリア。「品質保証規定」に関する記述は、マイクロソフト、または製造業者もしくはインストール業者により提供される明示の保証に関する記述を意味します。当該品質保証規定は、オーストラリア消費者法に基づく法定保証に従ったお客様の権利および救済を含め、法律に基づきお客様に付与されている場合があるその他の権利および救済に加えて提供されます。本項では、「商品」とは、マイクロソフト、または製造業者もしくはインストール業者が明示の保証を提供する本ソフトウェアを意味します。マイクロソフトの商品には、オーストラリア消費者法に基づき除外することのできない保証が付随するものとします。お客様は、重大な欠陥に対する交換または返金、およびその他の合理的に予測可能なあらゆる損失または損害に対する補償を有します。また、お客様は、かかる商品が合格品質に至っておらず当該欠陥が重大な欠陥とは見なされない場合に、かかる商品の修理または交換を受ける権利を有します。

b. カナダ。お客様は、インターネット アクセスを無効にすることで、お客様のデバイスで更新プログラムを受け取ることを停止できます。お客様がインターネットに再接続したときに、本ソフトウェアは更新プログラムの確認およびインストールを再開します。

c. 欧州連合。以下の第 12 条 d. (i) 項に規定されているアカデミック パックの使用の制限は、本サイト (aka.ms/academicuse) に記載されている地域では適用されません。

d. ドイツおよびオーストリア。

(i) 保証。適切にライセンスを取得したソフトウェアは、実質的に、本ソフトウェアに付属しているマイクロソフトに資料に説明されているとおり動作します。ただし、製造業者またはインストール業者、およびマイクロソフトは、ライセンスを取得したソフトウェアに関して契約上の保証は一切いたしません。

(ii) 責任の制限。製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは、故意による行動、重過失があった場合、および製造物責任法に基づく請求が申し立てられた場合、ならびにその死亡もしくは傷害、または物理的傷害が発生した場合、制定法に従って責任を負います。前文に従って、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが重大な契約上の義務、すなわち、本ライセンス条項の正当な履行を支援する義務の遂行、本契約の目的を怠くする義務の不履行、および当事者が常に信頼できる義務の遵守（「基本義務」といわれます）に違反した場合、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは軽過失に限り責任を負います。その他の軽過失については、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは責任を負いません。

12. 追加の注意事項

a. ネットワーク、データ、およびインターネットの使用。本ソフトウェアおよび本ソフトウェアを介してアクセスするサービスの一部の機能では、お客様のデバイスはインターネットにアクセスする必要がある場合があります。お客様によるアクセスおよび使用（料金を含みます）には、ご利用の移動体通信またはインターネット プロバイダーとの契約の条項が適用される場合があります。本ソフトウェアの一定の機能を使用すると、より効率的にインターネットにアクセスできますが、本ソフトウェアによる使用料率の計算結果がご利用のサービス プロバイダーによる算定結果と異なる場合があります。お客様は、(i) お客様自身のブラウザおよび契約の条項を理解して遵守すること、および (ii) パブリック ネットワークやオープン ネットワークなどのネットワークを使用またはネットワークにアクセスすることによって生じる問題、に常に責任を負うものとします。お客様は、権限がある場合に限り、本ソフトウェアを使用してネットワークに接続したり、当該ネットワークに関するアクセス情報を共有し続けることができます。

b. H.264/AVC および MPEG-4 ビジュアル規格と VC-1 ビデオ規格。本ソフトウェアには、H.264/MPEG-4 AVC および VC-1 ビデオ デコーディング テクノロジが含まれていることがあります。このテクノロジについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。本製品は、消費者による個人的かつ非商業的使用を前提とし、[AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE]、[VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE]、[MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE] に基づいて次の用途に限定されています。(i) 上記の規格（以下「ビデオ規格」といいます）に従ってビデオをエンコードすること、または (ii) 個人的かつ非商業的活動に従事する消費者がエンコードした AVC、VC-1、および MPEG-4 PART 2 ビデオをデコードする、もしくは、かかるビデオを提供するライセンスを有するビデオ プロバイダーから取得したビデオをデコードすること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。WWW.MPEGLA.COM をご覧ください。

c. マルウェア対策。マイクロソフトは、お客様のデバイスをマルウェアから保護することに注意を払っています。本ソフトウェアでは、他の対策がインストールされていないか、有効期間が切れている場合、マルウェア対策が有効になります。有効にするには、他のマルウェア対策ソフトウェアを無効にするか、場合によっては削除する必要があります。

d. 権利限定バージョン。お客様が取得された本ソフトウェアのバージョンについて、特定または限定用途と明記されているか、その他かかる用途が意図されている場合、お客様は特定される用途に限り、本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。またはシステム コーディリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。

(i) アカデミック パック。アカデミック パックを使用する場合、お客様は、購入時点で教育機関の学生、教職員、またはスタッフでなければなりません。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約

オンサイト保守パック サービス内容

「オンサイト保守パック」は、弊社製品を安心してご利用いただくために、お客様と弊社の利用規約のもと、弊社が提供する有償サービスです。

1. 対象製品

弊社ホームページで、本保守パック製品の対象としてご案内する製品
2. ご利用の際の注意事項

・本サービスのご利用には、対象製品のご購入から登録期限内に、オンライン登録ページからお申し込みを行う必要があります。

・サービスの開始日は、対象製品のご購入日が起算日になります。延長パックの場合は、既存登録の終了日が起算日となります。

・本サービスのサービス期間は、最大年数まで1年単位で延長することができます。(ISS-LGR-PO シリーズを除く)

・サービス期間中に解約のお申し出があっても、本サービス料金は返還されません。

・本サービスの対象は新品ハードウェア製品です。中古品やアウトレット品は対象外となります。また、同梱ソフトウェア類も対象外となります。

・空きスロットのある製品で本サービスにお申し込みいただいた場合、次の内容が追加されます。

①所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブも、空きスロット数を上限に本サービスの対象となります。

②追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブの本サービスの有効期間は、製品本体のご登録に準じます。

・(ISS-RUX/ISSR-RUX シリーズのみ)USB/eSATA 対応外付 HDD を単体利用した場合は本サービスの対象となりません。保守サービス加入

済みで保守期間中の弊社製 NAS に接続しバックアップHDD としてご利用の場合のみ、本サービスの対象となります。

・(ISS-LGR-PO シリーズのみ) 定期交換の実施が条件となります。詳しくは別紙「定期交換付きオンサイトの利用条件」をご確認ください。

3. サービス内容

(1) オンサイト

翌営業日にオンサイト（出張訪問による対象製品の入替および簡単な接続テスト）を実施させていただくサービスです。但し、以下の場合、翌営業日オンサイトが出来ません。その場合はできるだけ速やかに訪問できるよう日程調整いたします。

①オンサイト確定が 15 時以降の場合

②本州以外及び離島の場合

③何らかの要因で代替機材がオンサイト現地に届かないと判断した場合

④その他弊社ホームページ <http://www.iodata.jp/iss/> でご案内する場合

※弊社が指定する UPS 商品のオンサイト (ISS-UPS-PR シリーズ) に関しては最短で 2 営業日後の対応となります。また、弊社クラウド状態管理 NarSuS(ナーサス) で UPS 商品の不具合状況が確認できている事が条件となります。

- (2) デリバリー

不具合製品の代替品を弊社からお客様先へお届けし、不具合製品をお引取りさせていただくサービスです。

※「HDD 返却不要タイプ」の場合で故障 HDD を回収しない場合、不具合状況確認のため、事前に対象製品のログ送付が必要となります。

弊社クラウド状態管理 NarSuS(ナーサス) で対象製品の不具合状況が確認できる場合はログ送付は不要です。

※ 弊社が指定する UPS 商品のデリバリー (ISS-UPS-PR シリーズ) に関しては最短で 2 営業日後のお届けとなります。また、弊社クラウド状態管理 NarSuS(ナーサス) で UPS 商品の不具合状況が確認できている事が条件となります。

- (3) センドバック（「HDD 返却不要タイプ」「ISS-UPS-PR シリーズ」では選択できません）

不具合が発生した対象製品を弊社にお送りいただき、弊社で修理後、お客様先へ返送するサービスです。

- (4) 消耗品の扱い

本サービスには、ハードディスクドライブ、FAN、電源、バッテリー、液晶バックライト等の部品代も含まれております。

- (5) 優先電話回線

本サービスは、フリーコールの優先電話回線をご利用いただけます。優先電話回線の電話番号は、本サービスのお申し込みをされた際に管理者様に送信される登録完了メール、及び、お申し込み後のオンライン登録ページ内に記載されております。

- (6) 不具合発生後の処置

- (ii) 評価版。評価（またはテストもしくはデモンストレーション）版を使用する場合、お客様は、本ソフトウェアを販売すること、実際の運用環境で使用するこ、または評価期間の経過後に使用することではできません。本ライセンス条項にこれと異なる規定がある場合でも、評価版ソフトウェアは「現状有姿」で提供されます。

(iii)NFR。お客様は、[NFR] または[Not for Resale] と明記されているソフトウェアを販売することはできません。
13. 完全合意。本ライセンス条項（および製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが提供し、お客様が使用する、任意の追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに付属する、印刷されたライセンス条項またはその他の条項）ならびに本ライセンス条項に記載されている Web リンクに掲載されている条項は、本ソフトウェアならびに当該追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに関する完全なる合意です（ただし、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが、当該追加ソフトウェア、更新プログラム、またはサービスについてその他の条項を提供している場合は、この限りではありません）。本ライセンス条項は、本ソフトウェアの実行後、microsoft.com/useterms にアクセスするか、本ソフトウェアから[設定]、[システム]、[バージョン情報] の順に選択することで確認できます。また、本ライセンス条項に記載されているリンク先に掲載されている条項は、ブラウザのアドレス バーにその URL を入力することでも確認できます。お客様は、かかる条項を確認するものとします。お客様は、本ソフトウェアまたはサービスを使用する前に、リンク先の条項を含む本ライセンス条項をお読みになるものとします。お客様は、本ソフトウェアおよびサービスを使用することによって本ライセンス条項およびリンク先の条項を承認することとなることを理解するものとします。また、本ライセンス条項には情報が掲載されているリンクも記載されています。注意事項および拘束力のある条項が記載されたリンクは、以下のとおりです。

・Windows 10 のプライバシーに関する声明 (aka.ms/privacy)
・Microsoft サービス規約 (aka.ms/msa)
・Adobe Flash Player ライセンス条項 (aka.ms/adobeflash)

*****	免責
-------	----

お客様のデバイス上の本ソフトウェア（アプリケーションを含みます）は、現状有姿でライセンスされます。お客様の地域の法令により最大限認められる範囲において、本ソフトウェアの品質および性能に関するすべての危険は、お客様が負担するものとします。本ソフトウェアに瑕疵があることが判明した場合、お客様はすべての修正等にかかる総費用を負担するものとします。デバイス製造業者とマイクロソフトのいずれも、本ソフトウェアについていかなる明示的な保証または条件も負いません。製造業者およびマイクロソフトは、お客様の地域の法令により認められる範囲において、商品性、品質、特定目的に対する適合性、侵害の不存在に関するものを含め、黙示の保証、条件、その他の責任を一切負いません。本ライセンス条項では変更できない地域の法令による追加の消費者の権利または法定保証が存在する場合があります。

お客様の地域の法令により、契約上の制限にかかわらず保証、条件、その他の責任を負う必要がある場合、その有効期間は、最初のユーザーが本ソフトウェアを取得後 90 日間に制限されます。製造業者またはマイクロソフトが当該保証、条件、その他の責任を負う場合、製造業者またはマイクロソフトは、自らの選択において、(I) 無償で本ソフトウェアを修理もしくは交換するか、または (II) 本ソフトウェア（もしくは自らの選択により、本ソフトウェアがインストールされたデバイス）の返品を受け入れて購入金額を払い戻します。以上が、お客様の地域の法令に基づく保証、条件、その他の責任に対するお客様の唯一の権利となります。

損害賠償を受ける正当な根拠がある場合、お客様の地域の法律で禁止されていない限りにおいて、お客様から製造業者またはマイクロソフトに対する請求は、お客様が本ソフトウェアに対して支払った金額（お客様が本ソフトウェアを無償で取得した場合は 50 米ドル）を上限とする直接損害に限定されます。お客様は、本ライセンス条項の何らかの部分または法理に基づくことを問わず、その他の損害（逸失利益、直接損害、結果的損害、特別損害、間接損害、または付随的損害を含みます）に関して賠償またはその他の請求を行うことはできないものとし、かかる請求権を放棄します。この制限は、(I) 本契約、本ソフトウェア（アプリケーションを含みます）、デバイス、サービス、データの破損もしくは損失、データの送受信の失敗、第三者のインターネット サイト上のコンテンツ（コードを含みます）、または第三者のプログラムに関連した事項、および (II) 契約違反、保証責任、厳格責任、過失、もしくはその他の不法行為に対する請求、制定法もしくは法令の違反に対する請求、不当利得返還請求、またはその他の法理に基づく請求、に適用されます。

本ライセンス条項に規定する損害の免責および救済手段の制限は、他の救済手段が提供されない場合（本ソフトウェアは現状有姿でライセンスされます）、（お客様の地域の法令により要求される）修理、交換、もしくは払い戻しによってもお客様の損失が完全に補償されない場合、製造業者もしくはマイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたが、もしくは認識し得た場合、または本ライセンス条項に規定する救済手段がその実質的目的を達成できない場合にも、適用されます。

お客様のデバイスが保証の対象であるかどうかについては、デバイス製造業者にお問い合わせください。

対象製品に万一不具合が発生した時は、保守窓口（フリーコールの優先電話回線）へご連絡をお願いいたします。ご連絡の際は、製品名・製品 S/N・お客様番号を事前にご確認ください。弊社担当が症状をお伺いし製品不具合と判断された場合には、サービス内容の範囲で製品の交換・修理を実施いたします。詳しくは保守窓口にてご確認ください。また、対象製品が不具合と判断された場合は基本的に部品の交換とさせていただきます。製品交換が必要な場合、弊社在庫状況などにより、同型番や新品をご用意出来ない際は、同等機能の代品をもって対応させていただきます場合がございます。予めご了承願います。

(7) オンライン（出張訪問）時の現地修復作業と不具合品の回収
 サービスエンジニアによる現地修復作業は、不具合の確認、部品交換もしくは代品との交換、ケーブル類の接続、簡単な動作確認となります。作業後、不具合部品や不具合製品は回収させていただきます。

(8) データ復旧サービス特約（ISS-LGL-PR/PO、ISS-LG2-PR/PO、ISSR-LGT、ISSR-LGL-PO の各シリーズのみ適用可）
 「データ復旧サービス特約」（以下、データ復旧サービス）とは、障害が発生した本保守パック対象製品からデータを復旧することを試みるサービスです。
 ①データ復旧サービスは、お客様のデータの復旧を保証するものではありません。障害の状況によっては、データの復旧ができない場合があります。
 ②データ復旧サービスは、本保守パック対象製品の修理や障害発生の原因調査を目的とするものではありません。
 ③データ復旧サービスは、データ消失の損害を賠償するものではありません。
 ④データ復旧サービスは、現地で復旧作業を行いません。対象製品を弊社に送付いただく必要があります。
 ⑤データ復旧サービスをご利用の場合、お客様から弊社に送付された対象製品は弊社にて処分し、お客様に対して返却しません。
 ※データ復旧サービス特約の適用には、機器構成等の条件を満たす必要があります。詳しくはご利用規約をご確認ください。

オンライン保守パック ご利用規約

下記規約に基づいてサービスを実施いたします。規約にご同意いただける場合には、所定の手続きに従ってサービスをお申し込みください。なお、弊社ウェブサイトや本サービスの申込書等に記載されているルールも本規約の一部を構成するものといたします。

第 1 条（定義）
 本規約において使用される用語の定義は、以下の各号に定める通りとします。
 1. 「本サービス」とは、第 4 条（本サービス内容）に定める弊社がお客様に対して有償で行うサービスを意味します。
 2. 「対象製品」とは、第 2 条（対象製品）に定める本サービスの対象となる弊社製品（弊社が指定する UPS 商品を含みます。）を意味します。
 3. 「不具合製品」とは、不具合が発生した対象製品を意味し、「不具合部品」とは、不具合が発生した対象製品の部品を意味します。
 4. 「本保守パック製品」とは、保守パック製品のうちお客様がご購入された保守パック製品を意味します。
 5. 「本延長バック製品」とは、本保守パック製品の内、延長バックを意味します。
 6. 「オンライン」とは、サービスエンジニアがお客様先に訪問し、対象製品の入替および簡単な接続テストを行うサービスです。
 7. 「デリバリー」とは、不具合製品の代替品を弊社からお客様先へお届けし、不具合製品を引き取らせていただくサービスです。
 8. 「センドバック」とは、不具合製品を弊社に持ち込みまたはお送りいただき、弊社で修理後、お客様先へ返送するサービスです。
 9. 「データ復旧」とは、障害が発生した対象製品からお客様のデータを復旧することを試みるサービスです。
 10. 「不具合」とは、対象製品の保証書において無償修理の対象となっている故障を意味します。ただし、初期不良、着荷不良等の故障は、本規約で定める不具合には含まれません。

第 2 条（対象製品）
 1. 「オンライン保守パック」1 パッケージにつき本サービスを受けられる対象製品は 1 台です。（ISS-LG2 シリーズのみ 2 台が対象となります）。
 2. 対象製品は日本国内に設置されているものに限定します。
 3. 「オンライン保守パック」サービス内容に記載されている弊社製品（弊社が指定する UPS 商品を含みます。）を対象とします。
 4. 製品一式以外に別途購入された交換用部品は、対象製品に接続してご利用の場合でも本サービスの対象となりません。ただし、空きスロットのある製品で本サービスにお申し込みいただいた場合、所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブも、空きスロット数を上限に本サービスの対象とします。

第 3 条（お申し込み方法）
 1. 「本保守パック製品」の対象製品は新品のみとなります。対象製品のご購入から、登録期限内にお申し込みください。また「本延長バック製品」のサービスのお申し込みは、既存登録分の保守終了日までにお申し込みください。登録期限・保守終了日が過ぎますとサービスをお申し込み出来ませんのでご注意ください。
 2. お客様が本サービスをお申し込みされ、弊社がこれを承諾しますと、弊社から本サービスのお申し込み完了をお知らせするメールを送信いたします。本サービスのお申し込み後、万が一弊社から 24 時間以上（FAX 申込みの場合は 10 営業日以上）メール連絡がない場合は、下記の弊社インフォメーションデスクにご確認ください。
 【弊社インフォメーションデスク】
 月曜日～金曜日 10:00 ～ 17:00(祝休日および、弊社指定休業日を除く)
 TEL:0120-777-618 e-mail:iss@iodata.jp

第 4 条（本サービス内容）
 弊社は、「オンライン保守パック」サービス内容で定めるサービスをお客様に提供致します。詳細は「オンライン保守パック」サービス内容をご確認ください。
 1. 万が一不具合が発生した場合、基本的に部品の交換とさせていただきます。対象製品の交換が必要な場合、同型番品や新品をご用意できない際は、同等機能の代替品をもって対応させていただきます場合もございます。
 2. 本サービスの実施時間は月曜日～金曜日の午前 9 時から午後 5 時(祝休日および、弊社指定休業日を除く)となります。最新情報は「オンライン保守パック」サービス内容に記載されている弊社ホームページをご確認ください。
 3. 本サービスの一部もしくは全部の実施を弊社の選任した第三者（以下「弊社委託先」といいます。）に行わせることがありますのでご了承ください。
 4. 弊社は、特段の予告をすることなく、適宜本規約および別紙のサービス内容を変更することがあります。最新情報は「オンライン保守パック」サービス内容に記載されている弊社ホームページをご確認ください。
 5. (ISS-RUX/ISSR-RUX シリーズのみ)USB/eSATA 対応外付 HDD を単体利用した場合は本サービスの対象となりません。保守サービス加入済みで保守期間中の弊社製 NAS に接続しバックアップ HDD としてご利用の場合のみ、本サービスの対象となります。

第 5 条（故障情報の提供）
 お客様には、本サービスご依頼の際に対象製品の使用環境・現象等の故障情報をご連絡いただきます。

使う前に

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

第 6 条（設置場所の変更）

対象製品の設置場所を変更する場合、オンライン登録画面にログインし登録内容を変更いただくか、アイ・オー・サービスステーションの宛先に e-mail 又は FAX により連絡するものとします。

第 7 条（設置場所の整備）

お客様は、対象製品に添付されているマニュアル等に記載されている「設置に適した場所」に対象製品を設置し常に環境を整備、維持するものとします。

第 8 条（適用除外）

以下に該当する場合は、本サービスの対象外とします。ただし、弊社はその必要性が認められる場合には、お客様と別途協議のうえ実施時期、対価の金額その他必要事項を決定し、本サービスを実施いたします。

- 不具合がお客様の過失に起因する故障または破損や対象製品の取扱説明書等に記載された使用方法に反した利用取扱による場合
- 不具合が弊社または弊社委託先以外の第三者による改造または修理による場合
- お買上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお客様のお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷
- 弊社が定める製品設置環境条件に反したことにより生じた故障の修理
- 取り外しが困難な部位に対象製品が取り付けられているため、サービスエンジニアの作業が出来ず、且つ、お客様の協力が得られない場合
- 対象製品の移設、撤去に関する作業および立会い
- お客様の要求による対象製品の改造、清掃、点検
- 弊社の指定品以外の保守部材の使用、または保守部材等の保管不備のために対象製品に生じた故障の修理
- 対象製品が接続されるネットワークの復旧作業
- ソフトウェアに起因する事故の調査および対象製品の修理
 - 弊社が修理のために引き取った対象製品内のデータの保護
 - ハードディスク交換時のリビルド完了までの立会い、RAID 構成の設定作業、再構築作業
- 不具合が地震、水害、落雷、火災、その他天災地変や外部要因等の不可抗力に起因する場合
- 対象製品のシリアル No. シールが破損もしくは汚損し識別が困難な場合
- その他、本規約に違反していると弊社が判断する場合

第 9 条（料金）

- 本サービス料金には、本規約に基づく「オンライン」「デリバリィ」「センドバック」ならびに「データ復旧」のサービス費用（データ復旧サービス特約適用時のみ）を含みます。なお、以下の各号に該当する場合には、次の費用のお支払いが必要になります。
 - 対象製品の設置場所が離島等であり、本サービスを提供するために弊社または弊社委託先のサービスエンジニアが船舶、航空機等の交通機関を使用し、または宿泊等する必要がある場合：実費相当分
 - データ復旧にかかる費用が上限額を超える場合：上限額を超える差額分
- お客様のご都合や過失に起因して不具合製品を回収できない場合等の送料はお客様負担とさせていただきます。
- お客様からの解約のお申し出や、いかなる場合においても、一旦お支払いいただいた料金は返還いたしませんので、ご了承ください。

第 10 条（有効期間）

- 本サービスの実施可能期間は、対象製品のご購入から最大 5 年間となります（ISS-BSH/ISS-DAT シリーズは最大 6 年間、ISS-LGR-PO シリーズは最大 7 年間）。対象製品がご購入からサービスの実施可能期間を超えて使用されている場合、原則として本サービスは終了します。ただし、一旦お支払いいただいた料金は返還いたしませんので、ご了承ください。
- 対象製品が老朽化し正常な稼動維持が本サービスの実施によっても不可能であると弊社が判断した場合には、お客様と弊社の間で別途協議の上、当該対象製品の以後の取り扱いを決定するものとします。
- 空きスロットのある製品に所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブの有効期間は、製品本体の期間に準じます。

第 11 条（プログラム・データのバックアップ等）

- 本サービスをお受けになるまでに、必要に応じて、プログラムおよびデータのバックアップを行ってください。弊社は修復作業開始後においては、プログラムおよびデータ等の復元については応じられません。また、これによりお客様あるいは第三者に何らかの損害が発生しても弊社は一切の責任を負いません。
- 対象製品内に特定個人情報が含まれている場合、パスワード設定や暗号化等のアクセス制限を必ず設定のうえで本サービスにお申し込みください。弊社は対象製品内のデータを閲覧等することはありませんが、番号法のガイドラインに沿って適切なアクセス制御がされていない対象製品に対し本サービスを実施することができませんのでご注意ください。
- 不具合部品や不具合製品は、すべて回収させていただきます。ただし、「HDD 返却不要タイプ」の場合は故障 HDD を除いての回収となります。
- 回収後の不具合部品や不具合製品は、弊社にて自由に処分等をなしうるものといたします。回収後の不具合部品や不具合製品は、内部に記録された情報が外部に漏れることの無い様厳重な管理の下で処分いたしますが、重要なプログラムおよびデータ等が対象製品に保存されている場合には、交換作業前に、お客様の責任においてすべて消去してください。

第 12 条（交換部品等の所有権）

不具合部品や不具合製品の所有権は、弊社に帰属するものとします。ただし、「HDD 返却不要タイプ」の場合で故障 HDD を回収しない場合、故障 HDD の所有権はお客様に帰属するものといたします。なお、交換された対象製品についてお客様に所有権が帰属する場合であっても、当該製品が本サービス終了後に正常に使用できる事を保証するものではありません。

第 13 条（設置場所への立入）

- お客様は、本サービスの提供を行うために弊社のサービスエンジニアが対象製品の設置場所に立入ることを認めるとともに、当該サービスエンジニアが本サービスを行うために必要となる作業場所、消耗品を無償で提供するものとします。
- お客様は、弊社による本サービスのために必要な範囲で対象製品の稼動を停止するものとします。
- 本サービスを遂行するために必要な費用のうち、光熱水道費、消耗品費、通信費（弊社からお客様への通信費を除く）は、お客様の負担とします。

第 14 条（本サービスの解約）

弊社は、以下の各号に該当する場合、対象製品の本サービスを解約することができます。

- お客様が本サービス料金の支払を履行しない場合
- 第 15 条（責任の範囲）第 3 項に定める不可抗力による場合

第 15 条（責任の範囲）

- 弊社の損害賠償責任は、請求原因の如何にかかわらず、現実が発生した直接かつ通常の損害を対象とし、損害発生 の直接の原因となった本サービス料金を上限とします。
- 弊社は、別段の定めのない限り、対象製品の使用不能期間中に代替製品等を提供する義務を負わないものとします。
- 天災地変、戦争・暴動・内乱、輸送機関の事故、労働争議、その他不可抗力の事由により本規約に基づく債務の遅延または不能が生じた場合、弊社はお客様に対してその責任を負わないものとします。

第 16 条（瑕疵担保）

弊社または弊社委託先が実施した本サービスに、その実施の時から 6 か月以内に隠れた瑕疵が発見された場合、それが弊社の責めに帰すべき事由とみとめられた場合については、弊社は弊社の費用負担において当該瑕疵を修補ないしは、修補が困難な場合は同等またはそれ以上の機能を有する他の製品に交換します。

第 17 条（個人情報・機密保持）

- 本サービスのお申し込みに伴い、弊社が知ったお客様の氏名、住所等の個人情報については、本サービスの実施、本サービスの満了時のご案内およびサービス向上の為のアンケートや弊社新製品の発表時におけるご案内等で、弊社プライバシーポリシーにもとづき必要限度でのみ利用させていただき、弊社においてそれ以外に利用することはございません。また弊社委託先においても弊社と同等の安全管理を行います。弊社プライバシーポリシーに関しましては、下記の弊社ホームページをご確認ください。(http://www.iodata.jp/privacy.htm)
- お客様ならびに弊社および弊社委託先は、本サービスの実施によって知り得たそれぞれの相手方の情報を事前に相手方の書面による承諾なしに、第三者に開示・漏洩しないものとします。

第 18 条（権利・義務の譲渡の禁止）

お客様は、事前に書面による弊社の承諾を得ることなく、本サービスの実施から生じる権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡することはできないものとします。

第 19 条（反社会的勢力との関係断絶）

- お客様は、自己もしくは自己の役員が反社会的勢力でなく、また反社会的勢力ではなかったことおよび反社会的勢力として社会的に非難されるべき関係を有しておらず、今後也有しないことを保証するものとさせていただきます。
- お客様が前項に違反し、または違反するおそれがあると弊社が判断した場合、弊社は本規約を何らの催告なしに解除できるものとします。

第 20 条（定めのない事項等）

本規約に定めのない事項あるいは本規約の解釈に疑義が生じた場合には、お客様と弊社において誠実に協議を行うことといたします。

第 21 条（管轄裁判所）

前条の協議によってもなお本規約に関わる紛争が解決できない場合には、弊社の本店所在地を管轄する地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

使う前

導入する

その他の設定

故障と思ったら…

資料

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等に示した正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で利用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみににおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めのない限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての利用またはこれらに組み込んだ利用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で利用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

- eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）の登録商標です。
eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）からセイコーソリューションズ（株）にしたライセンスに基づき使用されています。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

APX2-EVID/5P 管理マニュアル
発行 株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力をお願いします。



型番	APX2-EVID/5P
保証期間	ご購入日より 5 年間有効です

☆ お 客 様	ふりがな	
	お名前	様
	TEL. () -	
	〒□□□-□□□□ ご住所	

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販 売 店	ご購入日	
	住所・店名	
	TEL. () -	印

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA

株式
会社

アイ・オー・データ機器



【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）に関するホワイトペーパーを掲載しています。

必要に応じてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>



【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。

設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>



進化する明日へ Continue thinking

株式
会社

アイ・オー・データ機器

<https://www.iodata.jp/>